大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞　夕刊　七月十四日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)　營業局專用(3)
發行人・編輯人・印刷人　松本・河・水越内之介

南京デマ退治の一大放送陣整備
海外放送の時間を總動員し認識の是正を期す

【東京國通】北支事變は支那側の相も變らざる不誠意から釀成、依然險惡の儘わが方の隱忍自重によつて辛うじて正面衝突の一歩手前で踏止まつたが、宣傳の國支那では得たりとばかり南京の廿キロ短波無電局を動員して晝夜の別なく十八番のデマ放送を開始し、全世界に向けて歪められたニユースを撒布してゐるので捨て置けずと奮起したAKでは先月完成したばかりの東洋一の五十キロ强力短波機を動員して南京のデマ退治の一大放送陣を整備した、從來每朝五時から六時迄歐洲向け、六時半から七時半迄南米及び遠く北米向け、午後二時半から三時半迄ハワイ、カナダ、西部北米向け、夜十時から十一時まで支那、南洋、濠洲向け一日四時間づゝ行つた海外放送の時間を總動員して一切の娛樂放送を廢止、これを全部事變關係のニユース放送に改めた、AKでは日、英、獨、佛の各國語で刻々の情勢を全世界の在外同胞および外人に向け放送、世界の輿論の前に支那側の惡性宣傳を抹殺してわが方の正しき主張を披瀝せんと大活動を續けてゐる

北平居留外人の引き揚げを要求
國民政府外交部から通告

【南京十三日發國通】國民政府外交部は十三日在南京各國大公使館に對し北平在住外人の引揚げにつき左の如く通告した

北平は外支人雜居してをり事變發生せば生命財産の保護に萬全を期し難いから各國はその居留民に對し至急北平を去り南下するよう通達されたい

引揚げ勸告は支那一流の逆宣傳

【東京國通】南京外交部の外國大公使引揚げ勸告は未だ公報到着せず、眞僞のほど不明であるが、關係當局では右は南京政府一流の逆宣傳とみてゐる、即ち北支における事態の惡化は一に支那軍の不法不信行爲に基くもので居留外人の引揚げの如き事態は支那人が故意に不穩行動に出でない限り絶對に發生し得ぬところであり、假りに何等かの紛糾が起るとしても大公使館區域を有し居留民保護の任務ある自國軍隊を有する歐米諸國居留民は何等その生命財産に脅威をうけることなきは濟南事件その他の事例に徵しても明瞭であつて、南京政府が殊更に外人の引揚げを慫慂するが如きはその意圖奈邊にあるかはいはずして明かであらう、南京政府はこれによつて外國の同情を惹きその干渉を導き入れて傳統的以夷征夷政策をもつて臨まんとするものとみ

北支事變寫眞第二報

日章旗飜る下に緊張せる〇〇隊本部前戰の我が將兵に慰問袋作成の北京國防婦人會員

蔣、總司令の資格で陸、海、空軍に號令
戰時職制によつて

【南京十三日發國通】廬山にあつて連日軍事會議を召集、交戰準備を整へつゝある蔣介石氏は十三日より戰時職制による陸、海、空軍總司令の資格で全軍に號令しつゝあり、既に左の指令を發した

一、商震氏を平漢線北段防守司令として鄭州、石家莊間にある中央軍最前線部隊の指揮權を委任す

二、韓復渠氏を津浦線防守司令に任命し津浦線北段の防備を嚴にせしむ

なほ徐州、埠間にあつた胡宗南麾下の第一師の精鋭及び教導師は十三日徐州、鄭州間に移動を完了し、その他の中央直系軍も續々鄭州を中心に隴海沿線に集結中である

御精勵畏き參謀總長宮樣
三宅坂の士氣正に天を衝く

【東京國通】北支の風雲愈よ急迫しつゝある折柄皇軍用兵作戰の最高樞機を司る參謀本部は事變勃發以來、全部員各部署につめきつて晝夜兼行重要協議に緊急處置の敏速果敢な實施に寢食を忘れて努力を續けつゝあるが、事變以來畏くも參謀總長の要職におはす閑院元帥宮殿下の御精勵振りには全部員は勿論、もれ聞く皇軍の將士等ひとしく感激敬仰の念を新たにしてゐる、畏くも殿下には北支の形勢重大を告げた十一日以來、御七十三歳にわたらせられる御身も御いとひなく早朝より參謀本部に御登廳、つぶさに現地の狀況、一般軍狀等を御聽取あそばされる傍ら種々事務上の御裁決をなされ、殊に十一日には重大廟議決定のため三回にわたり葉山御用邸に伺候あらせられる等御繁忙を極めさせられ御就寢も夜半近くとの御事で、さらに總長室においては部員と御共に一食二十二錢の粗末な辨當で御食事をあそばされるなど、部內の結束融和を圖らせ給ふ畏きおぼしめしには全部員は唯々恐懼感激申上げ三宅坂の士氣愈よ天を衝くの槪がある

太原、鄭州兩地居留民に引揚げ準備命令

【東京國通】外務省では支那在留邦人の保護に關して愼重な對策を考慮中であつたが、十三日差當り現地保護の可能性最も尠なき太原、鄭州領事館領事、出張員に對し夫々邦人引揚げ方につき萬全の準備をなをすべき旨訓令を發した

巡警が先頭で邦人の生活を脅威

【北平十三日發國通】北平西城方面では第廿九軍よりの指令により巡警が各商戸を歷訪し米その他の食糧品を日本人に販賣する者は三ヶ年の禁錮、自動車を貸與する者は死刑に處すと布告し、同時に學生をはじめとする諸團體の手で「日本人に米を賣る者を殺せ」との傳單を撒布せしめてゐる

更に錦州省も防衛地區に入る
奉天、安東と共に

北支の事態重大化に鑑み、十三日午後二時十五分南防衛地區命令發せられ奉天、安東、錦州各省廳は一齊に警戒管制に入つた

一、南防衛地區に新たに錦州省編入せらる

二、南防衛地區中錦州省、審陽、撫順、新民、遼中、遼陽、海城、本溪、營口、蓋平、復縣(以上奉天省)鳳城、安東、岫巖、莊河(以上安東省)の各縣に防空を下命さる

三、第二項時期は十三日より警戒管制およびこれに伴ふ警備を實施すべし

南防衛司令部布告

南防衛司令部では別項命令書發布と同時に大要左の如き布告をなした

わが南防衛地區は北支に近接し該方面の波動を受くること最も甚だし、即ち我等一同日滿共同防衛の精神に基き官民一體、日滿協力、速かに先づ防空諸般の處置を完了し、萬一に備へざるべからず、しかしてこれが實施に當りては動もすれば流言を生じ、或は各種事犯の發生をみるの憂ひなしとせず、一般民衆はよく官憲の指導に從ひ沈着事に處し各々生業に安んじ決して動搖するなかれ

安東に警戒管制

安東聯合防護團本部午後五時發表

南防衛地區司令部管下安東は十三日夜より警戒管制に入るに決せり

南朝鮮總督
半島各界に協力要望

【京城國通】南朝鮮總督は十三日官論界、通信員等各方面を招致し北支事變に對する積極的協力を求めるところあつたが、更に一層この非常時の趣旨を全鮮の民衆に徹底せしめるため內地々方長官會議と呼應して十五日午前九時總督府第一會議室に臨時各道知事會議を召集し、南總督、大野政務總監臨席の下に北支事變に對し半島官民一致の支持を期することゝなつた

馬村附近でわが兵四名戰死

【天津十四日發國通】支那駐屯軍司令部發表＝十三日午前十時頃馬村附近における日支衝突事件に關しその後判明せるところによれば、わが死傷者は戰死者四名、負傷者二名であるが、戰死者氏名は左の如し

步兵上等兵　表田次郎市
步兵一等兵　增田重義
步兵二等兵　石井大次郎
步兵一等兵　清水好男

人事往來

着京

▲武谷信吉氏(滿炭)十三日來京國都ホテル
▲矢津田方氏(同)同
▲平石榮一郎氏(同)同
▲中塚榮造氏(商業)同
▲志和俊陽氏(同)同
▲前田貞吉氏(同)同
▲玉井又之亟氏(奉天高等法院次長)同
▲平松明氏(岡組)同
▲楢崎吉武氏(商業)同
▲大江力氏(三和鑛業)同
▲高木伊吉氏(遼東モーター)同
▲稻葉岩吉氏(朝鮮總督府)同
▲元野長太郎氏(商業)同
▲伊佐光二氏(同)同
▲竹村茂幸氏(滿炭)同
▲宇田一氏(奉天高等農學校長)同
▲川島定兵衞氏(特產商)同
▲竹中錫三氏(滿炭)同
▲朝倉俊男氏(會社員)同富士屋
▲石川荒義氏(同)同
▲松崎好美氏(昭和製鋼所)同
▲淀端誠一氏(材木商)同蓬萊ホテル
▲岩間壽包氏(同)同
▲佐々木正氏(西安日本小學校訓導)同
▲野村芳介氏(台灣協會)同向陽ホテル
▲秋田喜三郎氏(會社員)同新京ホテル
▲池田高保氏(同)同
▲寺島正治氏(日本高級塗料取締役)同
▲福島悅男氏(會社員)同
▲萩野忠行氏(林野局)同
▲森田美三氏(鐵工業)同國際ホテル
▲永原貞市氏(特產商)同
▲田中健次氏(鋼材商)同
▲伊木實雄氏(東京市會議員)同
▲山中殖產課長(關東局)十四日歸京
▲磯部事務官(同)同

出發

▲山本久治氏　十三日發ハルビンへ
▲中西江三氏　同
▲松本慶三氏　同
▲草間正慶氏　同大連へ
▲吉村英吉氏　同
▲岡田一郎氏　同
▲內野正夫氏　同
▲光藤俊雄氏　同
▲藤田臣直氏　同
▲酒屋彥太郎氏　同
▲堀尾政弘氏　同
▲牧浦愛司氏　同
▲市河彥太郎氏　同東京へ
▲松村隆祐氏　同奉天へ
▲松本益至彥氏　同
▲熊井元吉氏　同
▲江崎重吉氏　同
▲新井春季氏　同農安へ
▲染野孝四郎氏　同東京へ
▲山本弘氏　同ハビバンへ
▲齋澤一義氏　同
▲山本純次氏　同
▲中谷繁雄氏　同
▲北田榮太郎氏　同安東へ
▲岩倉一馬氏　同
▲井上嚴二氏　同京城へ
▲田中吉政氏　同奉天へ
▲糸山德次郎氏　同
▲山地英之助氏　同

その日その日

□ 廬山に避暑を續けるわけにも行かず、部長連南京に還つてさて何をする！

□ 軍事徵發令を利用して、この際米國に設る銀など掻き集めたからう

□ 北支より去るべきもの、果して劣惡な二十九軍のみであるか！

□ 燈火管制に區別あることを辨へよ、徒らな暗中模索では困る

□ 愛國のマーチで踏んだステツプか、舞姬獻金の話題は涼しい

白い天使（四一）

林房雄作　吉田眞里畫

求職（四）

秀夫を、ひきづりこんだのは、むろん、運轉手の、篠田萬吉であつた。

かれは、秀夫が例の氣まぐれをだして、のりもしない娘をからかつてゐるのだと思つたので、いきなり秀夫のバンドをつかんで、助手臺のクッションにおしつけると同時にさつさと車をだしてしまつたのであつた。

（きみ、せめて——せめてくれさいつたら！）

さほざかつて行く弘子の方に、手をのばさぬばかりの恰好をしながら、秀夫はもがいた。

『ばかなまねはよせ』

篠田は大聲でしかりつけた

『あんな娘は圓タクなんかにのりはしない。おまへがさめろさいふから、おれは客だぜ

思つてさめたのだが——助手になつて半月だぜ、もう客種の見わけがついていゝころだ』

『いや、たのむから、さめてくれ——あれは客ではないのだ』

『それなら、なほさらさめる必要はない』

『あるんだ、あるんだ——さうぞ、ひきかへしてくれあの娘をいま見失つては、ぼくは……生きてゐるかひがない！』

『でたらめをいふな！』

さういつたものゝいまにも泣きだしさうな秀夫の顏をみると、これには、なにかわけがあるのだらうと、篠田も、思はざるを得なかつた。氣のどくになつてきたのでくるりと車をまわして、ひきかへしはじめた。

『ありがたう、ありがたう！……』

しかし、街中で車をまわすのはむづかしかつた。車や人にさまたげられて、しかも相當へだたつてゐるもその場所にひきかへしたさきには、人の流れにきえこんだのか、街路樹の下には、弘子の姿はもうみえなかつた、みめじにしよげかへつた秀夫

篠田はげせぬ顏をして、また車をはしらせながら

『なんだい、あの娘は？』

さうしようもない氣持の中で、秀夫は言葉をだす元氣さへなかつた。

『だまつてゐては、わからんじやないか』

秀夫は絕望の化身のやうなくらい顏をして

『ぼくは、あの人をさがしてゐたんだ——さんなことをしても、さがしださうと思つてゐた人を眼のまへにみながらさりにがしてしまつたあゝ、あの人を見失つては、ぼくがきみの助手になつた目的はゼロだ』

『なんださ？』

篠田は、ハンドルをつかんだからだをねぢむけるやうにして

『おまへは、女をさがすためにおれの助手になつたのか？いつかおれに話したことは、みんなうそだつたのか？』

さ、詰問した。

よくある手で、善良な人間を見込んでは泣きを入れて、出鱈目八百を並べて、その場を糊塗するさいつたやり方である。

生活に窮してゐる現代では已を得ないことさゝして、皆はそれを許してゐる。

（然し……）

さ、篠田は、開き直らずにはゐられない。

（それだからさいつても、だまされて默つてゐてたまつたものぢやない）

『いや、あれもうそではない……』

秀夫はあわてゝうちけしたかれが篠田の助手にしてもらふさき、いつたのは父の遺產をひきつぐために一年間はたらかなければならないさいつたことだ——

昨夜の警戒管制は遺憾ながら落第
過ぎたるは及ばざるが如し
新京統監部幕僚談

新京地區準備防空演習第一班は十三日午後八時の情況開始とともに翌日十四日午前四時半の解除に至るまで國都各機關、防護團、市民を打つて一丸とし緊張味溢るゝ中に實施せられたが、その結果について新京統監部では十四日午前十一時半から各委員の實施成績報告に基づき左の如き幕僚談を發表した一般市民中には警戒管制と非常管制の意義徹底を缺くもの多く遂に過ぎたるはなほ及ばざるが如き結果を生じた

昨夜 新京市で實施した警戒管制の準備演習は遺憾乍ら落第である一言にして言へば昨晩の燈火管制は警戒管制でなく非常管制である

即ち燭光を暗くしその上にカバーを懸け更に黑幕の窓覆をしたものが多い、或は舊市内の如く屋内の電燈を全然消してしまひ、更に當然殘置せねばならぬ街路燈をも消し交通に甚だしく危險を感ずるもの等があつて新京市全體は恰かも非常管制程度の暗黑さを呈して居つた

抑も警戒管制とは都市の上空に生ずる暈光(燈火のために空の明るくなること)を消し遠方より飛んで來る敵の飛行機に飛行目標を與へない爲に行ふ燈火管制であつて規定の燭光に光りを減じ電燈の高さを考へ完全にカバーを施し直射光線を外部に漏らさなければ黑のカーテンを施さなくてもよろしいのである、完全な電燈カバーを多數備付けて置けば家の中は寧ろ明るいのがよろしいので暗くすればする程警戒管制の

成績 が良好であると思ふのは大なる誤解である、若し室内を特に明るくして作業をねばならぬ部屋は完全に窓覆をしなければならぬ、次に小さい光り一つと雖も外に漏らさず上空に飛來した敵機に爆彈投下を與へないやうに燈火を管制するのが非常管制であつて此の時は空襲警報を聞くと同時に早速不必要な電燈を消し或は完全に窓覆を施し自動車馬車等の移動燈火を消さなければならぬ、從つて警戒管制から非常管制に移つた時は明瞭に其處に區別が出來なければならぬ又非常管制から警戒管制に復した時は急に町の中が明るくなつたやうに感ぜられねばならなつたである、昨晩のやうな狀態であれば恐らく空襲警報を聞いても街頭の殘置燈や移動燈火が消へる程度のものである

各家 としては殆ど非常管制を實施する余地がないであらう、何にしても此の際警戒管制の意義目的を正しく理解して今一應根本的に其の實施要領を改善する必要があらう又直接之が指導に當る警察防護團等の人々も特に此の點に注意し警戒管制の場合許し得る明るさの程度を正しく敎へて其の實施を適切に指導して頂きたい、なほ警戒管制は十一時前後解除されるものと誤解して燈火管制を解いたものがあつたが今回の演習は翌朝午前四時半まで繼續せられるにつきその點一般市民は充分の注意を要する

今夜も警戒管制
間違はぬやう
藤島附屬地防護團長語る

防空演習新京市準備演習第一日は異狀な緊張裡に徹宵したが、附屬地區防護團長藤島新京署長は第一夜の附屬地區の警戒管制情況を巡視の結果左の如く語つた

時局柄市民も防空に對する觀念を充分認識してゐる關係か緊張した氣分が全市に漲つてゐたやうだ殊に各防護團員の眞面目な活動は涙ぐましいものさへ感ずるものであつて感謝に堪へないが警戒管制の情況については遺憾乍ら警戒管制と非常管制の區別がはつきり認識されてゐないうらみがあつた第一日の夜は多く非常管制の設備がなされてゐたが、警戒管制の際は窓幕なども明けてもつとゆつたりした氣分であつてもらひたい、今後は非常と警戒の兩管制の意義をはつきりさせるやうに希望する、尚時々行はれる非常管制の場合に窓覆はピッタリ壁について周圍より絶對光線のもれないやう特に注意をしてもらひたい

尚十四日は引續いて警戒管制が行はれるが各防護團員は本演習が長期に亘る關係上隔日交替に勤務することゝなつた

康德會館新防護團
結成式擧行

康德會館では今回の防空演習を機會に防護團を再編成して非常時の護りを固めることゝなり、十三日午後三時から屋上で新防護團結成式を擧行、會館内二十三社から選拔された防護團員約三百名集合左の如く役員を選任し小池團長から訓示を行つた

團長 小池電業總務部長
副團長 松隈滿拓總務部長 錦織鮮拓總務部長
本部長 須藤電業文書課長
本部副長 後藤電業庶務係長
本部委員 各社代表

市公署防護團の強化充實へ
全署員に防毒マスクを配給

新京特別市公署では特殊防護團の強化並に市行政本來の防毒救護、水道土木關係、物資配給、燈火管制其他防空知識に關する一切の指導實施及び一般防護團の維持管理等に全面的活動開始の準備を着々進めつゝあるが今度その手初めとして全署員一千二百名に對し防毒マスクを配給整備することに決定した

白菊第四防護分團

白菊第四防護分團では既報の通り十三日午後七時五十分より警戒管制下に入り總團員二百五十名、中二百四十三名、殆んど全員に近い團員集合の上宮本團長の一場の訓示あり本部員を始め團員は各々所定の場所につき戸毎に指導の任に當り一致協力非常時意識を十二分に發揮し好果を修めて午後十一時散會した

電々會社の破壞電線復舊
實演々習

今朝防空演習に完璧を期してゐる電々會社では去る七月十一日午前九時「空襲を受けて軍司令部附近の重要電線が破壞された」との演習想定の通知を受けたので直に必要人員を動員し必要器材を整へ中央電話局吉田技術課長以下「トラック」「サイドカー」に分乘、四分で現場に到着し四十五分で二柱間に亘る「ケーブル」を架設して之を復舊せしめたが各員緊張裡に豫想外の成績を收めたが尚來る七月十五日取引所附近に於て第二回の復舊作業の實演を行ひ通信網の維持確保に萬全を期する筈である

半島青年
防空義勇團組織

在京朝鮮居留民は北支事變の重大性に鑑み十三日協和會朝鮮人分會會議室に於て七十六名の有志を持つて防空義勇團を組織し今回の防空演習に積極的活躍をなすことになつた尚領警署長の訓示あつて午後四時閉會した

"交通規則を嚴守せよ"
燈管第一夜は交通無事故

警戒管制第一夜の暗黑の街は新京署員總動員のもとに警戒取締に當つたため附屬地區は無事故と言ふ好成績を示したが藤島團長は語る

『第一夜は幸にして無事故と言ふ好成績に終つたが暗闇を待ち構へていつ事故が起らないとも限らぬから相互に注意して事故を未然に防ぎたいと思ふ、殊に各戸の戸締りを嚴重にしてもらひたい、尚暗闇の中に於ける交通については最も危險であるから交通規則は嚴守するやう一層の注意を希望する

ステップ踏む身にこの赤心あり!
新京會館のダンサー事變獻金

五彩のネオンの下、踊り狂ふステップの亂れるのもあながち妖しきヂャズの故ばかりではない、近代職業戰線の尖端を行く彼女達であつてみればそれだけ職場に於ける憩ひの一時にも自己反省は强烈に胸を衝くであらう、北支事變勃發の報巷に亂れ飛ぶ此の非常時局を外に、たゞ亂舞を續ける私達ではない、銃後の女性の一員として少しでもお國のために盡したい赤心は變りないと新京會館のダンサー諸孃は誰言ふとなく衆議一決、監督の立場にある永田春雄敎師を中心に寄々相談を重ねた結果、十三日給料日を迎へた總勢三十九名のダンサーの中病氣入院中の四名を除いた三十五名は、足一本から稼ぎ出した若干をそれ〲醵金し三十圓に達したので十四日永田氏に引率された代表小林光子さん、鈴木桂子さん、江藤小春さんの三人は關東軍司令部を訪問北支事變獻金の手續きをとつた、小林光子さんは一同を代表して語る

ほんの少しばかりでほんとにお恥しいわけです、それに職業柄あまり大袈裟にするのはどうかと考へたりしましたが、銃後の女性としてお國に盡したい氣持はチットもかはらないので、かへつてお手數かと思ひますが、かうして伺つたわけです(寫眞は獻金してゐるところ)

普濟會施療に饒村博士出張

かねて恩賜財團普濟會では永春路保甲所に於て貧民に對する施療投藥を行ひ好成績を擧げつゝあつたが新都醫院主饒村博士は日滿親善は先づこうした慈善からと卒先して施療を申し出で去る九日から三日間普濟會の後援で保甲所に出張無料診療施藥を行ひ六百餘名の患者を懇ろに診察加療しいたく喜ばれた

飛沫の中に描く眞夏の抛物線 (C)
華やかな水の魅惑白菊プール

アスファルトの鋪道もふくらむ炎熱の眞晝―ボ―――ッと熱氣を含んだ正午のサイレンが七月の蒼空にこだまして白雲を破り、ざんぶ!と飛沫を立ててとび込んだ先は白菊町プールだ。

それつ!、空間に美事な弧線を畫いて小麥色の抛物線が又一つ水中に身を躍らせた、海國に育ち大陸に永く生活してゐる者に一番戀しいのはあの青々とした水である、終日燒けつく様な太陽の熱に温められてもやはり水道の水は足先にキュッと冷たい、暫く忘れてゐた水の香に誘はれて思ひ切つてとび込む、全身を水中に沒し、ぶるつと身をふるはして水上に浮びよりしぶきと共に放つた感嘆詞は「おーい、いゝぞッー」流儀も型もへちまもない赤銅色に背をこがした小河童がポンヤン〱と飛沫を上げ乍ら潜つたり出たり、昔は水泳の選手だつたのだらう若者が一人派出なクロールで泳ぎ出してはみたものの五十米のターン後はさつぱり元氣が抜けて到々途中でへばつて樂なバックストロークにひつくり返つた。

さつきからダイビング台に思案顏のモダンな水着の人魚がモーションを起したかと思ふと忽ち鮮やかな空中の一閃「ホ……」次の瞬間にはピチ〱した若鮎の姿態を水の中にくねらせ乍ら水煙の中に彼女は笑つてゐた、此頃白菊町プールは一日に平均七、八百人の人出がある相だ、之から水銀柱の昇るにつれ益々増加する一方であらう、絶え間ない緊張に神經を麻痺した生命線を守る人等よ忙しい活動のひと時を勞いてプールに行つて型くずれでも良い水中を驅き廻せ―こんがり燒けた皮膚はやがて來る零下卅餘度の嚴寒をもけとばしてくれるだらう

眞夏への姿態

タイピストやダンサーで救護班を組織
瓦斯傷救急法の講演實習受く

時恰も非常時に際し國都は擧げて防空準備演習を實施しその効果を收めてゐるが、滿鐵支社、康德會館、新京百貨店その他特殊建造物、特種會社ではそれ〲特殊防護團を組織して防空、救護、消火等の訓練を怠らず非常時に備へてゐるが滿鐵新京支社、康德會館のタイピスト及び新京會館のダンサーは各特殊防護團の救護班となつて有事の際は負傷者の治療、消毒など救護の任に當ることゝなり、滿鐵支社タイピスト十名、康德會館タイピスト十名、新京會館ダンサー十名は十四日午後一時から滿鐵新京醫院に集り塚本新京衞生防護團長から瓦斯傷救急法に就て約三時間に亘り講演、實習を受け萬一の場合の救急法を修得した

第四十回彩票
頭彩三、七二七號
新京へ二つ、奉天へ二つ

第四十回福民獎券當籤番號左の如し

△頭彩 三、七二七
甲 安東 高野洋行
乙 新京 金泰洋行
丙 新京 松尾商店
丁 奉天 榮商會
戊 錦縣 大信利
己 奉天 西尾洋行

△二彩 一九、二一八
甲 錦縣 大信利
乙 正直洋行
丙 新京 泰正號
丁 奉天 西尾洋行
戊 哈爾濱 山口商店
己 齊々哈爾 洪昌盛

△三彩 三四、七一六
甲 奉天 森洋行
乙 哈爾濱 山口商店
丙 吉林 單殿臣
丁 新京 泰正號
戊 營口 任榮堂
己 正直洋行

△四彩(廿三本)
四三、七九六　二九、〇二〇　一〇、八六〇　四三、三五七　三二、九三七　一二、八八四　三五、三九七　一、三八三　一五、七八四　一五、九一三　四一、五七九　二、〇八八
二五、七五一　三六、三九四　一〇、九一七　三七七　一二、三六五　四五、一四二　一九、三一〇　三一、三〇一　四、一五二　三〇、九一一　四一、九〇六

△五彩(四十八本)
二三、七八〇　八、七三六　四一、二六九　一五、四二五　二九、九三七　四四、八六七　四二、六三二　三八、九三五　三一、三六九　三、六三八　二九、九九五　四九、五五三　三二、三八四　五、七七二　一〇、七〇二　一八、四七五　四八、八七三　三八、八八七　七二七　二、一四二　四五、二二六　二七、三四五　二五、七九九　一、三二七
四一、〇八八　二九、五二八　四九、三一一　四四、七七六　四一、二三六　三〇、七三七　二四、八〇二　二八、三八五　四七、四四三　二四、一九〇　三四、六一七　一三、九三七　三五、六五四　六、一一五　四〇、九九七　一一、〇四三　二四、五三一　一九、九九五　三四、四二八　四六、四六三　四四、二五二　二、七九二　四六、七九二　一九、三六五

庭球座談會延期

十三日午後四時より滿鐵支社會議室に於て擧行される筈であつた本社主催第二回全新京各箇所對抗歡式庭球大會打合會並に庭球座談會は防空準備演習の都合に依り十四日午後四時からに變更した

あす(十五日)

▲新京醫學校第二回卒業式、午前十時
▲半島人國防婦女會結成式、午後二時、普通學校講堂
▲硬式庭球申込締切、體育聯盟宛
▲月ヶ浦聚落兒童歸京、午後四時三十分
▲野球、撫順對新京倶樂部、午前四時半、西公園廣場
▲防空演習新京準備演習、午後八時より、防護燈火管制(統一管制を實施することあり)

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇俗曲(東京)小花外▲八・一〇尺八「鉢返し外」(東京)宮川如山外▲八・二〇吹奏樂「行進曲槍と刀外」(東京)星櫻吹奏樂團▲八・四五俚謠「盆踊唄」(東京)東京府北多摩郡昭和村有志▲九・〇〇講談「め組の喧嘩」(東京)神山山陽▲一〇・〇〇ラヂオドラマ「家庭防空本部」藤川研一外

映畫と演藝

けふからの銀座キネマ 四ッ谷怪談

銀座キネマ十四日よりの番組は左の如く新興二番線にユニバーサル作品を配した三本立編成である

▽新興京都「四ッ谷怪談」「本所七不思議」「佐賀怪猫傳」に次ぐ新興の怪談もの、夏の番組にはなくてならぬコワもの、木藤茂の監督により鈴木澄子のお岩、淺香新八郎の伊右衛門、他に尾上榮五郎、市川男女之助、芝田新、高山廣子などが助演、淫蕩な伴右衛門が虐めぬいたお岩の化ものに憑かれて自滅するまでの勸善懲惡ものがたり、因に「四ッ谷怪談」のトーキー化はこれが最初である

▽新興大泉「合歡の並木」婦人倶樂部連載加藤武雄原作小說の映畫化、陶山密脚色により小石榮一監督、都會に憧れて故鄉を捨てた女が、男に奔弄され自暴自棄となつて淪落の淵に沈んで行くが、やがて自分を眞實に愛する男の爲に救はれて幸福の生活に入る、高野由美主演の他に田中筆子、大橋凌子、橋爪文子、瀧鈴子、御影公子、淺田健二、植村謙二郎、小宮一晃、鳥橋弘一助演

▽ユニバーサル「フランケンシュタインの花嫁」ボリス・カーロフ主演の怪奇劇 雷電のために死んだ筈のフランケンシュタインの怪物が再び現はれ暴れ廻るのだが、この怪物の欲するものは處女の白骨によつて作られた怪物の花嫁であつた、ジェームス・ホエールの監督作品

大河內、J・O 第二作 國定忠治製作

日活からJ・Oに入社、目下第一回作「南國太平記」に主演してゐる大河內傳次郎は第二回作として渡邊邦男監督の「血路」（往年日活時代同じく渡邊監督とのコンビで製作した「劍を越えて」のトーキー化）に主演するが、更にこれに次いで「國定忠治」ものを製作することになつた、これがため大河內は今井映畫が製作豫定「國定忠治」を中止方諒解を求め、その代りとして海江田に自身主演用脚本「大前田英五郎」を贈つた

寛壽郎プロ 解消を拒否

新興白井社長から個人入社の交渉を受けた寛壽郎は東京實演の終了後正式に回答を行ふといつてゐるが、東上を前に本人及び實母森端幸氏は左のごとく新興の要求に應じない旨を洩らしてをり、新興側でも何分の返事があるまで次回作品の製作を保留するといつた强硬態度を持してゐるので相當の波瀾が豫想されてゐること注目されるのはJ・O森田プロデューサーが非公式にではあるが、寛壽郎と會見してをり、東寶の觸手が早くものびてゐる模樣である、寛壽郎の意向は

契約はあと三年以上ありますが、私の受けとつてゐる契約金は來年八月までです 無論私としてはこの期限內は從來の通り寛プロで仕事を續けたいと思ひますので個人入社の話はお受け出來ません

パ社秋の作品

アドルフ・ヅーカー廿五周年記念に躍通してゐるパラマウント社では一九三七—三八年度提供作品廿二本を計畫してゐるが、この中左の十一本を決定、秋のエクランを飾ることゝなつた

△「海の魂」ヘンリイ・ハサウエイ監督、ゲイリー・クーパー、ジョージ・ラフト主演△「たくましき男」ルーベン・マムウリアン監督、アイリン・ダン主演△「エンゼル」エルンスト・ルビッチ監督、マレーネ・ディートリッヒ主演△「帝國の誕生」フランク・ロイド監督、ジョエル・マックリイ主演△「干潮」總天然色ジエームス・ホーガン監督、ロイド・ノーラン主演△「海賊」セシル・ビー・デミル監督、フランツィスカ・ガール主演△「貴方とわたし」フリッツ・ラング監督、ジョージ・ラフト主演△「一九三八年の大放送」△「ロイドの大學教授」ハロルド・ロイド主演△「ジャングルの戀」ドロシイ・ラムーア主演△「ブウルウ」フランク・バック作品

さぼてん

ミス東洋にお嫁に行きたくつて／＼と云ふ麗人が三人居るいやもつと居るが、三人はあせつて居る▼たか子君、男さへ見ると「妾しこう見えても年も相當だししつかりしてるのよ、それに御飯は一日にお茶碗に一杯半位、味噌汁は一ヶ月か二ヶ月に一杯きりなのそれでもこんなに肥えて居てとても元氣なのよ、どう駄目？」ですつて▼其次は今を盛りのよし子未亡人、「妾し先の夫とかなしい別れをして早十年、もう亡夫への操もいゝでせう、顔はこんなで身體もこうですけれど氣は實にいゝものよ、どうして誰れも申し込まんのかね、貴方、もう二三度來てしんみりつきあつて御覧」ですつて▼さてどんぢりは幸子孃「わたしね／＼結婚するともう少し肥えるわ、ね！ね！」ですつて、皆御自分で仰言るのだからたしかです

▽▽悦ちゃん乘出す△△

日活多摩川作品「悦ちやん」の第二回主演作品で悦ちやん同樣倉田文人の監督作品である、サトウ・ハチローの原作に基き倉田監督自身が脚色に當つた、悦ちやんは今度はブルジョアの娘、例によつて學校の童謠なんかより音頭か流行歌などが得意なのであるが、家ではお父さんもお母さんも皆んなかまつてくれないので何時も仲良しのよしちやんの家で遊んでゐる、ところが悦ちやんの姉さんが遊ぶのに飽きて道樂氣からお父さんの店でショップガールとなつて働く事になり、そのためによしちやんの姉さんが馘になつた、悦ちやんがこれを聞いて小さい正義感から默つてゐられなくなつた、村田宏壽、澤村貞子、中田弘二、黒田記代、園枝幸子の他に星美千子以下子役が總動員、新京キネマ十五日封切

雜音

長春座の初日は順調な入り、暑さに脅威されながらも先づ落ちると言つてもこゝらあたりの成績は惡い方ではなからう▼帝都も初日はいゝ入りを見せた由、次週は「タンネンベルグ大會戰」「柔港」「今日限りの命」と戰爭ものに地震ものが加はつておそろしい番組となつた、續いて「ターザン大會」などがゆく、今月の切札はその次あたりの「失はれた地平線」である▼豊劇、新キネはあすから變る、夫々特色あるプロが組まれてゐる

木曜　七月十五日　舊六月八日　癸卯　先勝　成　井宿

●一白の人　榮譽を得利益共に授る幸運日進んで功あり　甲と丁と辛が吉
●二黒の人　失意の域より得意の境に入らんとする吉日　庚と酉と寅が吉
●三碧の人　質素を旨とし內を守るに吉外に在ては不利　乙と午と寅が吉
●四綠の人　捨つる神あれば助くる神あり落膽せず勵め　甲と午と未が吉
●五黃の人　進退何れにても宜しきを得る日旅行轉宅吉　庚と辛と艮が吉
●六白の人　計畫は整ひたりとも資財力の足らざる如し　丁と酉と壬が吉
●七赤の人　內外共に無事にして目上との親和亦深き日　丁と辛と子が吉
●八白の人　萬事調子好く進展する日相談契約亦成立す　庚と辛と寅が吉
●九紫の人　進まんよりも退き守るを旨とすべし病注意　乙と未と寅が吉

滿洲國の米統制に米穀會社設立か
生産配給に亘り嚴重に實施

滿洲國では農村經濟の基本をなす農作物及び軍需關係農作物に對しては可能なる範圍内に於て生産配給統制を行ふ方針を確立し、其ために農産物生産配給統制法を發布する筈であり、既に生産配給統制機關としての農事合作社の設立準備に着手したが、米に對する需給統制としては滿洲國産米增産計畫が日本米穀市場に打撃を加へる事なき様嚴重な米穀統制を行ふことになり、次の如き方針を確定してゐる即ち

一、米作は原則として日本人移民及び鮮農移民をして行はしむ

一、米の生産については許可制をとり一應國家が買上げる

一、農作物配給統制法とは別に米穀に關する生産配給統制法を實施する

しかして以上の如き米穀統制法案は内地および朝鮮市場とも最も密接な關聯をもつため目下愼重に考究されつゝあるが、仄聞する處によれば、政府は以上の如き米穀統制機關として政府および滿拓、鮮拓との協同出資の下に特殊會社組織による米穀會社を設立せんと企圖し、諸般の準備を急ぎつゝある模様であるが、該會社設立は米の生産および配給の全面に亘り一手に統制さるべく、米增産計畫の進行に伴ひ、現在輸入關税賦課を免じてゐる西貢米、蘭貢米等の外米に對する將來の處置問題等と關聯して米穀會社の設立については異常な關心がもたれてゐる

木材試験法制定に關する第一次協議會

滿洲國における森林行政の根本對策を規定する木材の標準および特殊木材試験法制定に關する第一次協議會は十、十一の兩日軍人會館に開催、滿鐵側草間、太田農事試験場技師その他滿洲國側大陸科學院福渡研究官外數氏出席の上左の件を附議したが、來る九月中旬更に第二次會合を開いて具體案を練ることゝなつてゐる

一、資料について　二、試験片について　三、試験項目に關する打合せ　四、採用試験機の打合せ　五、試験操作法に關する打合せ　六、計算法および計算式に關する打合せ

なほ第一次會合の結果、從來滿洲國政府側および滿鐵側に非公式に存在した木材試験の兩委員が新たに合流して滿洲木材試験協議會委員として今後同法の制定に參畫することになつたが、顔觸れは次の通りである

滿鐵農事試験場熊岳城分場太田基、同草間正慶、滿鐵々道研究所田中芳松、同布施忠司、關東軍長沼少佐、林總務廳企畫處田中久二、林野局計畫科松川恭佐、同大倉精二、營繕需品局企畫科葛岡正男、土木局道路科長江守保平、大陸科學院福渡七郎

本年度の大豆收穫一割以上增加か
―輸移出可能量も增大せん―

新年度農作物の播種發育狀況は地方市場における取扱業者實見談乃至推量を綜合し滿鐵農事試験場より發表せらるゝ豫備的速報に依る外ないが大體に於て農産物一般に對する高價格は農耕大衆の狀態を良好ならしめ更に新作付段別を增加し殊に小麥、大豆等は產業五ケ年計畫の刺戟もあり相當の增收を豫想されてゐる而して目下の諸事情を綜合するに大豆は北滿一割五分南滿一割乃至一割二分增で全滿に五十萬噸見當の增收を見込まれてゐる、北滿地方の調査は困難であるが南滿地方の實地調査の結果は以上の如く之を十一年度南滿大豆實收量三百萬噸地方需要八十萬噸、輸移出可能量は百二十萬噸見當と推定せられて居るのに鑑み本年度の大豆增産は輸移出可能量を增大するものと見られてゐる

第一回收穫豫想今月末發表

滿洲國產業開發計畫に關する政府當局の積極的方針はあらゆる分野に亘り着々準備が進められつゝあるが、北滿一帶の農産物作柄の如何は滿洲經濟界繁榮の根本を支配するものとして各方面より重大なる關心が拂はれて居るが、北滿調査班は既に去月以來本年度第一次收穫豫想調査に出發し最近漸く調査を完了續々歸還しつゝあり本月末には一般に公表の豫定である

滿洲計器工事五十嵐組に落札

七月十三日午後一時滿洲計器股份有限公司に於て左記の通り入札の結果新發路二〇七合資會社五十嵐組に落札した

滿洲計器會社倉庫及車庫新築工事

五十嵐組	一八、九〇〇圓
榛組	二〇、三二七圓
山田工務所	二〇、三五〇圓
草間組	二〇、四〇〇圓
杉山組	二〇、五〇〇圓

人造纖維工業振興 滿洲國も計畫
國立研究機關設置その他

最近滿洲國に於てはステープル・ファイバー工業の振興策に關し具體化に邁進しつゝあつたが愈よ振興策を樹立し積極的に乘り出すこととなつた其の具體的方法としては△國立研究機關を設置し徹底的研究を行ふと共にス・フ自體の製造は勿論その紡績、製織、染色、仕上等についても研究をなし同時に之が原料たるパルプに關し研究をなす、又民間研究所、學校等ス・フ工業に關する研究施設と密接な連繫協調を保持し綜合的研究をなし研究の結果は之を地方工業試験場等に移し地方當業者を指導する等普遍化に努力する△ス・フ織物に對しては消費税を免除し鐵道運賃を引下げ消費者に對しては同應用製品の使用を奬勵する、又官給服其他學生々徒兒童の制服に使用を奬勵し製品の規格を定め廉價維持と混合使用とに便せしめる、而してス・フの原料たるパルプに關しては人絹用パルプ及製紙用パルプとの密接な關聯性に鑑み原料資源の確保並に調査を圖り植林をなしパルプ用材の輸入等に關しては適切な措置を講じ、その改善增産に邁進し内鮮滿の綜合的パルプ國策を樹立することゝなつた

パルプ原料不足とわが林業政策(上)

賀屋藏相の物の豫算三十品目内にパルプ資源の世界的涸渇が數へられ、其國策樹立が要請せられること今日より甚だしきはない。内地の洋紙需要は近年累增して年額十八億程度と推定されるが、最近半年間の消費の增加と値段の

昂騰

は持に目覺ましい。今日からの新聞の二割値上で夫れは一般大衆に充分納得せられた事だ(紙その物の値とは此の半年に四五割だ)其處へ纖工場の躍進的進軍である。之は新興産業として大正十四年頃から注目され初めたのであるが飛躍を果ねて今や人絹生産高は世界第一位となり、ステープル・ファイバーも紡績工場の休錘をこれへ振向けると云ふ既存過剩生産設備の轉用に依つて生産條件に惠まれ今では綿糸との競爭品たる地位にまで進出した。されば人纖原料パルプの消費增加は紙より更に著るしい。パルプの

需給

十年の實績に依れば、消費量百萬屯其内譯は製紙用八十七萬屯、人纖用十三萬屯である。百萬屯の消費の七割三分は國内パルプ工場で生産し殘る二割七分は輸入は仰ぐ。パルプ一屯の製造に木材何石要るかは各社で公表しないが假に十二石と見て、全部自給すれば所要原木は一千二百萬石である。然も今後も需要增進は必至だ。内論に見ても十年間には二位の消費となる推定の根據はある、其處へ世界的パルプ飢饉から輸入困難と云ふ情勢が加はる。國内の森林で增大する資材消費を自給し得る林力があるかどうか問題は此處だ。かてゝかへて鐵消費節約から必然的にコンクリート建築から木造建築への流れがあつて、建築材方面への木材需要も增加する。パルプ資材と建築用材とが

競合

して原料獲得の觸手が山から山へと伸びる。最近の顯著な實として製紙工場の手先ブローカーが近縣の山林へ盛んに赤松の大量購入に這入つて居る。之は現在の樺太乃至北海道に在る資源を多少でも延ばす爲に、赤松パルプを混用して備へやうと云ふ自衛策の現れだ。問題は其處まで進んで居る。(未完)

土建ニュース

▲遼陽電燈公司變更所倉庫新築工事　特命　一千三百九十圓　吉川組

▲日本ゴム會社遼陽工場煉瓦塀木柵策造工事　●日本足袋會社　落札　七千四百八十一圓八

▲國務院廳舎構内植樹其他工事　●營繕需品局

第二回示談　五千圓　村田逍遙園

▲滿洲興業銀行錦州支店新築工事　●興業銀行　決定　七萬九千五百圓

▲鄭家屯滿鐵廳舎ヲ病院ニ改造工事　落札　七千二百四十圓

映画御案内

岸本チエーン映画御案内　豐樂劇場（12日より14日まで）

下階 三十錢			
黒猫	11.50	3.25	7.10
女ドラキユウ	12.50	4.52	8.10
大鴉	2.00	5.45	9.30

新京キネマ（12日より14日まで）

下階 三十錢			
これがアメリカ艦隊		2.42	6.43
本朝怪猫傳	12.00	4.01	8.02
マキノ映畫 四谷怪談	1.05	5.06	9.07

朝日座（十四日より十六日迄）

下階 三十錢			
陸の野獸	12.00	3.41	7.22
岩見重太郎	12.58	4.39	8.20
裏街の交響樂	2.15	5.56	9.37 10.59終

新京キネマ　岡讓二大熱演　男は度胸　◇近日公開◇　豐樂劇場　片岡千惠藏明朗篇　謳へ春風　◇公開近し◇　新京キネマ

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一ヶ月壹圓　一部五錢　郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二五　營業局專用(3)三二〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　永越內之介

齊冀察政務委員赴津

【北平十四日發國通】冀察政務委員會常務委員齊燮元氏は十四日朝十時開通の北寧線にて天津に赴いた

國府、交戰を決意す！

鐵道、交通部に戰時動員令

【南京十三日發國通】國民政府は愈よ積極的交戰の決意を固め、このため通信交通機關の戰時國家動員を斷行するに決定、直ちに管轄各機關に對し左の如き內命を發したといはれる

一、鐵道部は全國鐵道をして軍隊、軍需品、兵糧の運輸に全力を擧ぐべく、殊に運輸のスピード化を目標として連絡に統制をとり、一般貨物、旅客の運輸を犧牲とするも顧ないこと

一、交通部は電信郵便各業務を總動員し軍用連絡に萬全を期すべく且つ國論統一のため通信の檢閲を嚴重ならしめること

支那抗日戰備強化

支那空軍の前線移動頻り

【南京十四日發國通】十四日朝來南京市內の空氣はますます緊張し、南京＝前線間の連絡軍用機が頻りに往來してゐる、十四日も午前七時、九時の二回にわたつて各々五機編成の戰鬪機が杭州方面から飛來し一度着陸の上直ちに北方に向つた、目下南方から鄭州方面に向け空軍の大移動が頻りに行はれ、すでに廣東の三十四機をはじめ蘭州、西安、南昌の各軍隊に對しても出動命令が發せられた

平漢線で中央軍陸續北上

【天津十四日發國通至急報】當地軍司令部への確報によれば、十四日未明四時より五時にかけ平漢線石家莊以北を約四十箇の軍用列車が蜿蜒長蛇の列をなし陸續蓄進中なるを發見した右は劉峙の中央軍部隊とみられてをり、晝間の行進を止め夜間ひそかに北上を續けてゐる模樣で、中央は現地における日支交涉を徒らに遷延せしめ、着々戰鬪準備を完備しつゝあるものとみるべきで、これは梅津、何應欽協定を完全に破棄せる背信行爲たること明白で、軍は極度に憤激して成行を嚴重監視してゐる

【天津十四日發國通】中央軍の北上は愈よ活潑を極め龐炳勳、劉峙軍は十三日以來續々進出し、十四日前衞部隊は四十五列車に滿載され石家莊を通過保定に向つた、右の如く支那側は平和交涉を遷延せしめながら頻りに軍事移動を行ひ戰鬪開始を急ぐ體勢を示してゐる

【天津十四日發國通】北平郊外平漢線北方の支那陣地は盛に戰鬪準備を整へつゝあり、その狀況左の如し

一、八寶山附近には兵力約二團あり堅固なる陣地を構築中
二、衙門口およびその附近の部落附近も陣地構築中
三、北平西方約一キロの競馬場附近に進出した一ヶ旅は依然駐屯してゐる
四、同競馬場から八寶山にわたる小部落にも盛に陣地構築中
五、長辛店附近には約六ケ團があり、高地より永定河岸にかけ盛にこれまた陣地構築中

陸軍省發表

【東京國通】十四日午後三時半陸軍省發表

一、わが駐屯軍に屬する一小部隊は十五日午前十一時頃馬村(北平南方約二キロ)附近を自動車にて行進中該地にありし支那軍第卅七師は不法にも突然機關銃の射擊を加へたるをもつて、わが部隊は直ちに應戰しこれを擊破した、本戰鬪におけるわが戰死者三名

二、長辛店および永定河西岸地區には保定附近より北上せる萬福麟軍の一部到着せるものゝ如く、また平漢線良鄕附近にも南方より騎兵部隊が到着してゐる

三、南京方面においては十三日までに軍隊の移動をみないが、軍需品の輸送が既に開始された如くである

四、南京政府は十三日軍事徵發令を公布した

不法監禁された憲兵二名歸る

【北平十四日發國通】八日朝來支那兵に拉致監禁されてゐたわが憲兵二名および半島人六名は十三日夕刻釋放され無事北平に歸還した

蘆溝橋附近要圖

滿鐵重役全部あす奉天に集合

北支事變對策を協議

【大連國通】松岡滿鐵總裁は飛行機で歸任の豫定を變更し十四日午後三時東京驛發列車で歸任の途につき十六日奉天に歸着するが、目下歸任の途にある佐々木、武部兩理事は十六日定期船で歸連、滿通中の郡山理事とゝもに直ちにあじあで赴奉、中西理事は飛行機で十四日中に奉天に赴き、阪谷理事も北平より奉天に向ひ在奉の大村副總裁、宇佐美佐藤兩理事等滿鐵重役全部十六日中には奉天に集合、對支國策の決定に基く滿鐵の北支對策を凝議することゝなつてゐる

松岡總裁十六日歸滿

【奉天國通】東上中であつた中西滿鐵理事は北支事態の重大化に鑑み十六日奉天において開催の滿鐵重役會議に臨むべく急遽歸滿、十四日午後五時着列車で來奉、少憩の後同四十五分發あじあで歸連したが語る

北支事變に關して滿鐵としての方針その他諸般の打合せを行ふため歸滿した、一應大連に歸り十五日夜來奉するが、東上中の松岡總裁は十六日歸滿來奉する、その上重役會が開かれ滿鐵の對支對策を確立する豫定である

拉致された川波氏釋放さる

【北平十四日發國通】承平バス承德事務所長川波幸右衞門氏ほか一名は十三日夜張家口から列車にて來平、下車すると同時に支那兵のため拉致されたが、十四日朝に至り無事釋放された

"自戒自重せよ"

官吏へ、星野長官內訓

重大化しつゝある北支の事態に關し張國務總理大臣はさきに日本政府・關東軍の公正なる態度につき全幅の贊意を表し滿洲國政府の態度を闡明したが、今や事變に對する滿洲國民の關心は漸く昂まりつゝあるので、滿洲國政府は一層時局を重大視し、星野總務長官は十四日民心の安定を期すべく政府諸官廳に對し左の如き趣旨の重要內訓を發し、滿洲國官吏の自戒自省を促した(寫眞は星野長官)

一、時局重大なるに鑑み特に治安維持に萬全の工作をなすべし
一、重要なる地位にある各官吏は自戒自重してその職責を全うすべし
一、民心の安定に善處すべし

北平東停車場に避難民殺到

【北平十四日發國通】戒嚴と交通閉塞の大恐怖から異常な重壓感をうけてゐた北平市は十四日朝北寧線の開通によつて漸く一抹の解放的空氣を漂はし、東停車場には天津行列車をめがけて避難民が殺到し邦人婦女子の姿もみうけられた、北寧線が全ダイヤの運轉を復歸し各線が全通し、北平の各城門が全部解放されて交通狀態が全部舊狀に復歸するかどうかは今後の事態如何にかゝつてゐる

北平の奈良氏消息不明

【北平十四日發國通】九日豐臺驛から何處にか姿を消した北平文林洋行主人奈良敎文氏の行方に關しては、その後わが當局において百方搜査中であるが未だ消息を得ず懸念されてゐる、奈良氏は九日午後零時四十分發列車で西直門に行くとて家を出た點からみて或は西直門に下車、入城に際し不法なる憲兵のため何處かに拉致されたものと思はれる

邦人へ不當壓迫

北平の排日氣勢昂まる

【東京國通】十四日午前十時までに達した確實なる情報によれば

一、先般信陽附近から鄭州に移駐してゐた第十師(中央直系蔣鼎文麾下、師長李默庵)は七月十四日同地を發し保定方面に前進を開始した

二、山東方面は事變發生以來大體平靜であるが、各新聞は抗日意識の昂揚に努めてゐる、同地方における中央系紙幣は漸次下落を告げてゐる

三、北平市內は依然戒嚴下に置かれ、第廿九軍入平以來支那側住民の排日氣勢昂まり在留邦人に對する壓迫は緩和されない、北平商務會は城內を兵亂の巷とされることは迷惑に堪えないとし第二十九軍の城外撤退を懇請してゐる

中央、韓復渠氏に山東軍增遣を命令

【濟南十四日發國通】南京政府軍政部長何應欽氏は十三日韓復渠氏に電話をもつて今次事變に對する同氏の意向を打診したが、韓氏は事件不擴大と和平解決を希望する旨回答せるに同日再び電話をもつて津浦線北部に山東軍增遣を命令して來たといはれる、從來保境安民の方針を堅持して來れる韓氏が中央の壓力に對して如何なる態度に出るか成行は注視されてゐる

韓氏態度愼重

【濟南十四日發國通】北支事變につき頗るデリケートな立場にある韓復渠氏が情勢の推移に非常な注意を拂ひ、愼重な態度をとつて未だ何等の行動に出てゐないが、中央の命令あれば即時一部隊を某地方に派遣する準備をしてゐるといはれる、しかして韓氏としては中央軍の津浦線を北上山東に入り來ることあらば日本の山東出兵は避け難いとなしこの點を重視してゐる

日本人保護に萬全を期す　韓復渠氏言明

【濟南十四日發國通】望月總領事代理は十三日午後山東省政府に首席韓復渠氏を訪問、今次事變の經過とわが方の態度を說明し稅警團の移駐以來濰縣以東における軍事的施設ならびに抗日訓練などの結果排日運動勃發の兆あり、濟南はもとより膠濟鐵道沿線における居留邦人の保護に萬全を期せられたしと申出でた、これに對し韓復渠氏は滿洲事變に際しても貴國人の保護には萬全を期したつもりであつた

臺灣軍司令部

事態善處の訓告發す

【臺北國通】北支事變の重大化に伴ひ支那と一葦帶水の特殊地位にある台灣軍司令部は十三日午後幕僚長の形式で畑參謀長は大要左の重大訓告を發した

一、事變は刻々重大化しつゝあり

二、本島防衛のため島內官民は何時大命を拜するも差支へないやう準備を全うすること肝要なり

三、事變の責任帝國にあるが如き荒唐無稽の惡宣傳は支那の常套手段なるものをもつて、彼と一葦帶水の本島においては特に注意を要する

四、軍は非常事態に處すべき決意と準備とを完成しつゝあり

日支連絡貨客扱十五日から中止

【東京國通】鐵道省では北支事變の重大化に鑑み日支連絡の貨客取扱ひ一切を十五日から一時中止することになつた但し北寧鐵道經由に限り貨物のみは遲延を承知の上取扱ふ筈である

北支事變寫眞第三報

上　宛平縣城門
下　城門の手前のガードで堰止められた北平よりの通行人

人事往來

▲境米市氏(滿鐵)十四日來京ヤマトホテル
▲野事嘉造氏(敎員)同
▲羽鳥文雄氏(台灣總督府)同
同中央ホテル
▲角井寬一氏(會社員)同向陽ホテル
▲砂野良夫氏(淸水組)同
▲富永眞雄氏(官吏)同
▲藤本啓一氏(官吏)同　都ホテル
▲河野卓次氏(高岡組)同
▲小笠原徹氏(官吏)同

偶語

滿洲防空協會では全滿防空演習を機會に防毒マスクの普及徹底に大童となつてゐる▼化學兵器の進步發達に伴ふ近代戰の慘禍は昔日の比でない▼中でも毒瓦斯の恐るべきは伊太利のエチオピア攻略によつて明々白々であらう▼戰鬪員と非戰鬪員を問はず我々は天皇陛下の赤子である▼若し不注意により身體を損傷するが如き者がありとすればそは不忠者なりと云ふを得べし▼時局いよいよ多事多難われわれは先づ第一に最惡の場合に處する準備の萬全を期さねばならぬ▼家庭を有つものは日常の生活費を節約し獨身者は享樂費の一部を割いても一家一個の防毒面を備へよ▼隱忍自重幾星霜勘忍袋の緒は遂に切れ破邪顯正神州の劍は遂に鞘走つた▼正に國民總動員の秋此の機に臨んで最も心ずべきは銃後の士氣の昂揚である▼職の前の一服程度の休養と慰安は良しとするも▼紅燈綠酒に耽溺するが如き醜態は此際大いに愼むべきであらう

社説

對日抗戰と支那の現實

一

北支に勃發した事變は、局面不擴大どころか、支那側の積極的な出方によつて今は全面的な對立尖鋭化へ進まうとしてゐる。十三日の北平發電報は、蔣介石氏が日支戰爭を決意して廣範圍に亘る動員令を下し、洛陽には既に三、四十臺の飛行機が到着、作戰の本據は同地に置かれたものの如くであると報じ來つた。これよりさき國民政府が軍事徴發令を公布したことも報ぜられ、すでに交通諸機關はこのために強行的に用ひられつゝあることが傳へられてゐる。いはゆる對日抗戰がすでに實行への段階に入り、支那全國の軍事、政治、經濟悉くの部門が擧げて此の目標に集中せしめられつゝあるのを見るべきである。

二

かかる際に於いて、支那が此の種の「非常時」に對していかなる準備を有してゐたかを見ることは興味あることであらう。それも軍事的部門などについてでなく、その基底たるべき產業、經濟の方面に於いてこれを檢討することがより肝要である。さきにわれわれはこの問題に關して專ら北支經濟を中心に論述してゐる支那側の論議に接した。こゝにはその要點について檢討したいと思ふ。論者は先づ北支に於ける豐富な鑛鑛資源について說き、この資源の開發に努むる事が肝要である旨を述べてゐる。次に石油、ガソリン等について論じ、その貯藏をはかるとゝもに國際供給路を維持し他方には植物性油代用に努むべき事を說いてゐる。更に石炭について論じ、棉花について說いてゐる。棉花については國內增產の要を說くなほまた小麥についてもその增產の必要なことを詳說してゐる。論者はまた金融の方面から問題を觀察し、北支においても外國資本の勢力が半ば近くの勢力を持つてゐること、それが非常時となつた場合、どのやうに變化するかを考へてゐる。

三

資本の不足を抗戰のため外債に求めるとすれば、結局自繩自縛に陷るであらうとする論者の見解は正しいであらう。外債に頼らないとすれば、通貨膨脹によらなければならないが、これは貨幣價値の下落物價の高騰となつて惡い結果を招く、この事はすでに今日から明白なところである。國家統一運動をその逸脫しない範圍に於いて進める間は良かつた。しかしその範圍を越えて、現實的な條件をも無視して支那國民政府が猛進しやうとするならば、すでにその國內の產業、經濟事情からも反擊を蒙らざるを得ぬのではないか。表面的な氣勢の背後に、支那內部の現實がいかに動くかこそ最も注意されねばならぬところである。

新京取引所の純益急に激增
開所以來の好記錄を示現

新京取引所信託株式會社は十四日第卅一回本年度上半期營業成績報告書の作成を終り、來る七月廿六日定期株主總會を開催、利益金の處分を決定するが、當期における營業成績は左記の如く開所以來の好記錄を示し、取組出來高は當期のみをもつて昨年一年間の出來高を記錄し、純益金も九萬二千百八十八圓廿五錢を擧げ前期繰越金四千六百八十九圓六十錢を合して合計九萬六千八百七十五圓八十五錢の記錄的純益を擧げたが、株主配當は依然例年通り年六分に据置くものと思はれる、次に當期營業概況を示せば次の如し

△擔保及淸算業務　當期間に於る營業日數は百卅一日で先物取引賣買高は大豆五三二八二車、高粱一、八七六車を淸算し　前年同期に比すれば大豆三七、〇〇九車高粱八四七車と著しく增加を示し、從つて賣買手數料收入總額金十一萬五千八百一圓八十錢を計上、前年同期に比し金八萬五千八百二圓七十二錢の增收を示してゐる

次ぎに本期間における當市場の商況を概觀すれば前半期においては奧地農民の賣惜み、出廻り遲延、日本內地株式商品市場の好況、世界的諸物價の騰勢の波に乘り輸出も亦旺盛で相場は概ね騰勢を續けたが、後半期に入り內外需要一服と米國小麥の暴落　歐洲に於る油脂原料の崩落等海外市況不冴へに輸出減退、第四回北滿農產物收穫豫想高は前回に比し大豆約三萬キロトンの增收を報ずる等、四月上旬を天井に大勢漸落に終始したが市場は頓に活況を呈し賣買は殷盛を極め當所取組出來高の如きは開所以來の記錄を示現してゐる、損益計算書は左の如し

▲損益計算書

收入	金額
重要物產賣買手數料	一一五、八〇一圓八〇
株券名義書換手數料	一三圓四〇
貸付金利息	七四四圓〇〇
營業保證金利息	一、三三二圓〇六
定期預金利息	二、一五九圓〇六
通知預金利息	一、九四一圓七〇
當座預金利息	二七九圓七二
雜益	四〇八圓五〇
合計	一二三、九一〇圓七三

支出	金額
關東局特許料	一六、四四七圓四〇
取引人身元保證金利息	八八七圓六一
社員身元保證金利息	九八圓一七
營業費	一四、一八九圓四〇
當期純益金	九二、一八八圓二五
合計	一二三、九一〇圓七三

風車を使つて發電 移民村に電燈
洋燈廢して明い家庭生活へ

滿洲拓殖株式會社では湖南營永豐鎭、綏稜方面に於る第一次より第五次までの移民團の農耕作業に必要な動力の安價な使用方法に關し豫て種々考究中であつたが、今回大陸科學院本岡研究官の斡旋で理研大河內研究室で創製した木炭ガス發生機による動力設備と同研究官が永年研究してゐる風車による動力設備とを前記移民地に試驗的に据附け、生產費の低下を圖ることになつた、即ち木炭ガス發生機による動力設備はシボレー、フォード等の自動車に使用した古エンヂン(價格內地卅圓乃至五十圓、滿洲七十圓乃至百圓)を利用して動力を起すものでこれによると現在使つてゐるガソリン使用の動力より約五分の一位、動力費が減じ、又風車利用によるものは最初設備費がかゝるだけで、その後は常備費を必要としないといふ譯で、移民地の利用動力はこの風車による發電動力が最も理想的とされてゐる、しかして、目下ガソリン使用の動力によつて作業を行つてゐるものは製材、製粉、精米籾摺り等の小範圍であるが、風車利用が移民地において成功すれば現在洋燈を灯してゐるといふ狀態にある移民團の恵まれない家庭生活にも安價な電力が豐富に供給されることになり、電燈は申すに及ばずその他の家庭生活に電力が充分利用されて一躍文化移民團が出現するわけである

川井部隊生存勇士が戰友の慰靈祭
十八日有志を糾合して執行

今を去る六年前護國の鬼と散つた戰友の英靈を永久にたゝへ慰めんとその當時同中隊に生死を共にした將士が慰靈祭を行ふことになり各方面を感激せしめてゐる—滿洲事變當時開原に居た川井部隊は激戰の第一戰を承り南嶺、陶家屯、東邊道と各地に奮戰し赫々たる武名を轟かしたが、その後六年、戰友は西に東に袂をわかち今では軍服を脫いで邦家の爲め各自生業にはげんで居るが、當時の特務曹長高瀨景一氏(現在國務院勤務)玉利義熊氏(現在司令部兵事部勤務)伍長三般大嚴氏(現在交通會社勤務)等がこの程南嶺の激戰をはじめ各地で失つた三十餘名の戰友の慰靈祭を思ひ立ち同志にもはかつたところ哈爾濱、奉天その他各地に散在する生死を一諸と誓つた同中隊將士五十餘名たちどころに贊成、話は急テンポに進み來る七月十八日午後三時大正寺に一同參集し南嶺に赴き懇ろなる慰靈祭を行ひ終つて懇親會を開き當時の奮戰を追憶し舊情をあたゝめることになつた、なほ同中隊は全部秋田縣出身なのでこの際秋田縣人多數の參會を希望してゐる

原關東軍顧問 名殘惜しく去る
けふ午前十時發列車で

關東軍經濟顧問原邦道氏は東京税務監督局長に榮轉、十五日午前十時發「はと」で赴任することゝなつたが、氏は昨年三月大阪税務監督局長より大藏省官吏として來滿、關東軍顧問として滿洲國の金融機構に全力を注ぎ、產業五ケ年計畫に伴ふ所要資金計畫、興業銀行設立等に對して多大の功績があり、今回の轉出は各方面から惜しまれてゐる

▲在滿してから一ケ年半、漸く色んな事情が判つた頃に離滿するのは非常に殘念に思つてゐる、昨年二月發令されて三月中旬こちらに赴任して來たのだが一ケ年半の間に日本では內閣が三度も變つてゐる、自分が來た頃、大藏省では滿洲で働らく官吏を道樂息子の樣に考へて偶々日本に行つてもその折衝に一苦勞であつたが最近では非常に良くなつた日滿官吏の交流も一因だらうが……

▲在滿中一番大きかつた仕事は興業銀行の設立で五ケ年計畫の資金案は漸く目鼻が付いた程度だ、興銀と中銀との問題に就いては時代の推移につれて漸次調整されるものと考へてゐる

▲內地に歸つてからは滿洲國とは全然無關係の仕事をする事になつてゐるが日滿關係の各種委員會などに顏を出して盡力する積りである

最後に「魅力ある滿洲の夏の生活を捨てゝ內地に歸り度くないよ」と取片付けられた應接室で名殘惜しそうであつた(寫眞は和服に寬いで語る原邦道氏)

北支問題につき 特別の處置に出る要なし
＝ハル米國務長官言明＝

【ワシントン十三日發國通】十三日國務省の定例記者團との會見に於て、ハル國務長官は北支問題に關し英國政府より通告を受けたことを肯定、但し通告は極めて消極的なもので、英米兩國政府間に本問題につき協議を行ふ等といふが如きものではなく、單に英國政府の意向を傳へたもので米國政府としては直ちにこれに贊意を表する譯には行かず米國獨自の立場政策がある旨を言明左の如く述べた

米國政府は十二日夜英國政府から北支問題に關する通告を接受したが、通告の內容又はこれに對する米國政府の回答に就ては言明の限りではないが、右通告は十二日齋藤日本大使並に汪支那參事官と會見後到着したものである、何れにしても米國政府は本問題につき今日迄何等外交手段に出たる事實なく又さしあたり特別の處置に出る必要もないと信ずる、米國は極東の事態に捲込まれるが如き深入りは餘り好まない、北支在留米國市民の引揚については未だ何等考慮してゐない

外紙の論調
獨アルゲマイネ

【ベルリン十二日發國通】ドイツ各紙は極東の事態につき重大關心を示し、今次北支事變の發展につき歷史的經過を述べ事態の說明を試みてゐるが、就中ドイッチエ・アルゲマイネ・ツアイトウング紙は十二日の紙上で次の如く論じてゐる

今日の歐洲人は全く傍觀者となり、昔なら恐らく介入した筈の極東の事態に對しても今は全く平靜だと考へてゐる始末だ、極東の事態は今や全く一變し、前世紀末乃至今世紀初期に於て歐洲人が抱いた對極東認識は完全に改めなければならぬ即ち租界や開港場を一つや二つ即ちもつたからとて極東の戰爭に捲込まれる樣な一大危險にあへて近寄る必要が何處にあるといふのだ亞細亞の問題は亞細亞人によつて處置せしめることとなつては最も賢明なる方策である

ヘラルド・トリビユーン

【ニユーヨーク十二日發國通】ヘラルド・トリビユーン紙は十二日の紙上で北支事變に言及左の如く述べてゐる

北平附近から出るニユースが眞實かと言ふことは斷言出來ない、停戰約束が纏まると二、三時間もたゝぬ內に破られてゐる模樣だが、これは何れも不思議なことではないので一度衝突が起れば統一のない支那軍を統制するのは難しい、普通なら停戰協定が出來、相互ひに面子をつぶさないやうに外的折衝が行はれるのだが蔣介石氏が麾下の精銳部隊を北進せしめてゐると言ふ報道が眞實ならさうは行くまい、蔣介石氏が眞に日本と決戰しようとしてゐるとせば一寸無暴なことだ、若し軍隊を北進させるやうなことがあれば、支那自身を混亂に導くばかりだらう

北支方面行の旅客取扱

北寧線豐台北平間は十日以降北支事變のため列車は運行杜絕し連絡施設がないため滿鐵各驛では山海關以遠の旅客及び手小荷物の輸送に對しては何分の通知あるまで天津總站まで取扱ひ、北平行の客は遲延承知のものに限つて取扱ふことになつた

藥劑師藥品兩法 一兩日中に公布

さきに國務院會議を通過した滿洲國藥劑師法ならびに藥品法は十三日參議府會議を通過したので、十四日上奏御裁可を仰ぐこととなつたが、一兩日中に同法の公布をみ、九月一日から實施される豫定である、同法は近年問題となつてゐる醫藥分業は全然考慮に容れず、醫師の調劑を認め、また藥劑師に對しても特定の毒藥を除くほかは醫師の處方箋なくしても自由に調劑し得ることを許してゐるところが特異な點といはれてゐる

寺尾、中田兩博士視察日程

農林省農事試驗場技師寺尾博士及び九州帝大農學部教授中田覺五郎博士は滿洲に於ける農產物增殖計畫の現地に於ける進展狀況調查を主として小麥病害發生對策考究のため左の日程で各地を視察することになつた

▲寺尾博士日程＝七月十五日東京發十八日公主嶺着、十九日哈爾濱、二十日佳木斯、二十三日永豐鎭、二十五日湖南營、二十九日密山、三十一日牡丹江、八月一日圖們、二日敦化、四日哈爾濱、七日克山、チチハル、八日新京、九日錦州、十日新京、十一日歸國

▲中田博士日程＝二十八日出發三十日着京、三十一日ハルビン、二日佳木斯、四日永豐鎭、六日牡丹江、七日哈爾濱、九日克山、十一日チチハル、十三日新京歸着

農事組合法問題
糧棧業者代表懇談

日滿實業協會滿洲支部では近く公布をみるべき滿洲國農事組合法によつて從來滿洲國經濟機構上樞要な役割を果しつゝある糧棧、物產商方面の組織の變革される影響を恐れ、全滿各主要都市の日滿代表を招集十四日午前十一時から滿鐵支社會議室で滿洲國政府經濟部、產業部當局者の出席を請ひ、種々懇談會を開催した

見習士官の修得期間短縮

【東京國通】緊迫した情勢に鑑み陸軍では本年度に限り各兵科現役見習士官の修得期を短縮、少尉任官期日を繰上げることゝなり、十四日陸軍省令第十九號をもつてこの旨公布した、見習士官としての修得期間は今まで大體約四ケ月であつたが、今度の改正ではこれを二ケ月に短縮されたので六月二十九日陸士本科を巢立した四百七十四名の見習士官は八月下旬には早くも各兵科陸軍少尉に任官、皇軍第一線の新銳幹部となるわけである、なほ陸軍當局は今次の改正は北支事變を對象とするものではない旨言明してゐる

橋本參議 昨日東京出發

【東京國通】滿洲國參議に新任の橋本虎之助中將は十四日午前九時東京驛發赴任の途についた

王慶璋氏 あじあで着任

產業部建設司長に榮轉の前奉天市長王慶璋氏は十五日あじあで着任する

阪谷理事天津へ

滿鐵阪谷理事は奧村產業部次長と共に十四日周水子發旅客機で天津に赴いた、田代前司令官に病氣見舞を述べた上歸連の豫定である

進藤郵務局長

滿支視察を終へた遞信省郵務局長進藤誠一氏は十四日出帆の瑞穗丸で歸任した

秋吉特務科長 十四日赴任

【東京國通】滿洲國治安部特務科長秋吉威郞氏は、十四日午後三時東京驛發赴任した

堀內弘報處長 就任披露

國務院總務廳弘報處長堀內一雄氏は十三日午後七時からヤマトホテルで在京主要新聞通信社首腦部を招待披露宴を張つたがデザートコースに入り堀內氏弘報處の機構改革を語り之に對し高柳弘報協會理事長挨拶をなし寬いで歡談した

赤嶺事務長挨拶

協和會中央本部指導部組織科長から吉林省本部事務長に榮轉の赤嶺義臣氏は十四日挨拶に來社した

菅野庶務課長

佳圖線全通式參加をかねて佳木斯附近の移民地視察のため出張中の滿鐵新京支社菅野庶務課長は十三日夜歸任した

遺骨凱旋

北滿國防第一線の花と散つた皇軍五十五勇士の遺骨は十四日午前十時三十分發列車で祖國へ無言の凱旋の途についた、これよりさき午前十時安置所太子堂を出發した遺骨は祝町から中央通りに出で蜿々と續く行列に消ゆく市民は一々脫帽して弔意を表し、新京驛には關東軍幕僚、在鄉軍人、國防婦人、國防婦女、各中、小學校生徒兒童その他一般有志六百餘名の見送りあり、讀經裡に靈柩車はホームを離れた

三都市交通會社 懇親野球戰

大連、奉天、新京滿洲の三大都市交通會社では同業者としての融和連絡提携上の懇親は先づスポーツよりと野球、庭球、卓球のリーグ戰を行ふことになり第一回野球リーグ戰を來る十八日奉天に於て擧行し次いで庭球十月頃卓球試合を行ふことゝなつた、なほ來年は新京、明後年は大連に於て行ふ

ゴルフ倶樂部 理事長盃豫選

新京ゴルフ倶樂部では十八日理事長盃爭奪の豫選試合を擧行する

商況欄
(七月十四日)後場

株式相場

●大連株式(短期)

品	寄	引
五品新	一六、〇〇	ー
豆新	一九、一〇	ー
東新	一四、六〇	ー
滿鐵	五五、六〇	ー
同新	四三、一〇	ー
日產	七五、六〇	ー
鐘新	二五九、〇〇	ー

●奉天株式(短期)

品	寄	引
滿取	一二、九〇	ー
東新	一四四、五〇	一五六、〇〇
日產	七六、一〇	八一、五〇
鐘新	二六〇、〇〇	二六九、五〇
五品	一六、〇五	ー
豆新	ー	ー
滿鐵	五五、一〇	ー
同新	ー	ー
電甲	四〇、七〇	ー
滿毛	ー	ー
日會	ー	ー

手形交換高(十四日)

四二六　五八〇、四五八、四四四

鮮魚小賣相場(七月十四日)

品名	最高	最低
活鯛	一〇五	七八
氷鯛	…	…
中小鯛	七八	五二
カスゴ	…	…
チコ鯛	…	…
チヌ鯛	五五	五二
アマ鯛	五三	五二
イセエビ	一三五	四六
エビ	八五	…
車エビ	…	…
ブリ	二九	七二
ヒラス	五〇	…
マナ	三三	二七
マス	五〇	…
サワラ	…	…
スズキ	二八	一七
ニベ	二五	一五
アジ	…	…
サメ	二四	二三
赤ムツ	…	…
アコウ	七二	…
メバル	…	…
アブラメ	…	…
鰡	…	…
タコ	四五	…
水蛸	…	…
飯蛸	…	…
紋甲イカ	…	…
甲イカ	五五	…
小イカ	二七	二二
ヒラメ	…	…
カレイ	…	…
星カレイ	…	…
日高カレイ	…	…
[illegible]	…	…
カナガシラ	…	…
コノシロ	…	…
コチ	…	…
オコゼ	…	…
キス	…	…
サヨリ	五五	四六
アナゴ	…	…
帆立貝身	二八	二四
赤貝	一五	一〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]
カニ	二五	…
梶木(切り身相場)	一〇〇	[illegible]
[illegible]	五〇〇	四〇〇
ヒラメ	四七	三〇

けふの天氣　北寄りの風晴時々曇
日の出　前　五時　九分
日の入　後　八時一九分
月の出　後　一時　二分
月の入　後　十二時三八分
きのふ　最高　三二度五
氣溫　最低　一九度四

國境線の不明確とソ聯の武力脅威 (完)

江防艦隊の强化を痛感

奇克碼頭より望む (奇克にて)

愛琿、四季屯を經て今回のソ聯砲艦擊沈事件が勃發した乾岔子島及び金阿穆河島を目近に控へる奇克碼頭に着く

奇克は黑河の下流水路一五四キロの點にある縣城の所在地で下流對岸のソ聯ボヤルコフ街と斜交ひとなつてゐる人口僅か二千餘の小邑である

この一帶は吉里哈爾嶺が南部縣境を東西に走り、その派生的丘陵が隨所に突起してゐるので丘陵地帶が多く平野は江岸より三滿里乃至十滿里にすぎぬが、この丘陵は至つて傾斜が緩漫で近年治安回復と共に耕作地としてぼつぼつ開墾せられてゐる、この邊りは六月中旬から廿日間位の雨期を經れば眞夏となる、酷暑は七月中旬から八月中旬頃迄で日中は連日百十度以上に達するが日沒となると氣溫は急降下して薄衣では外出出來ず、夏期の熱暑、冬期の嚴寒とを兼備した有難からぬ地域で一年一日を通じて寒暑の差の著しいのが特徴である

問題の焦點乾岔子島 (上海丸にて)

問題の島、乾岔子島は龍江の濁流にポッカリと浮び出てゐる繪のやうな美しい綠の島だ島といふよりは黑龍江の變化によつて作られた中洲といふ方が適切である、ソ聯兵が不法侵入した金阿穆河島附近から乾岔子島、更に下流のボヤルコフ水道に掛けて連續的にこのやうな小島が十幾つも點々と河面に列んで居り、何れも一様に脊丈の低い猫柳と綠の雜草に覆はれてゐる、この邊は上流とはいひながら連續せる島や中洲を中流に抱きこんだ黑龍江は丁度蛇を呑みこんだ蛇のやうにふくれ上つて河筋も二條、三條に分岐し河幅も千米以上に達してをり河といふ感じよりは湖と評した方が實感が出て來る樣だ船舶は河流に從つてこれ等の島を或ひは右に或ひは左に廻つてジックザックに航行するのであるが、河流の變化に從つて水路は南に北に東に西に自由に移動する

こゝに國境ならびに航路協定の浮動性が胚胎するのである

急務は國境線の劃定 (奇克にて)

問題の乾岔子島にしろ金阿穆河島にしろ、日滿兩國側が飽くまで滿洲國領たることを實力をもつても強硬に主張するに對し、ソ聯側では全然これを否認しその歸屬問題は今後の折衝に殘されてゐる

しかし兩島の歸屬問題は一八五八年の愛琿條約ならびに康德元年九月滿洲國哈爾濱航政局とソ聯アムール國立船舶局間に締結せられた航行改善に關する協定によつて明瞭に滿洲國領と確認せらるべきものであり、歷史的に見るも一點疑問を差挾む餘地はないのである、國境紛爭の根本原因がソ聯の極東軍備擴充による挑戰的態度にあるは論を俟たないが、その一半は國境線の不明確なるに歸せしめねばならない、急務は國境の劃定と現行水路協定內容の合理的改訂にある

擴大強化に餘念なき赤軍黑龍江艦隊

ソ聯の極東における兵力は三十萬と稱せられる、ソ聯極東軍當局が全力を傾注して滿ソ國境全線にわたつて構築したる強力なるトーチカ網と飛行機裝甲自動車、戰車等近代兵器を總動員した強力なソ聯陸上兵力に擁せられて滿洲國江防艦隊に對抗する赤軍黑龍江艦隊がある

同艦隊は根據地を黑龍江とウスリー河の合流點たるハバロフスクに、前進根據地をブラゴエに置き、國境河川、黑龍江、ウスリー河の航行權を確保すべく強大なる陣容を整備してゐる

その編成陣容は砲艦、輕砲艦砲艇、より形成され、總數は四十隻以上に達してゐる、就中赤軍艦隊が誇る最新式千噸級砲艦は十二センチ砲四門、高射機關銃二台を備へてゐるハバロフクスの根據地を拔錨してブラゴエに遡行する途中三隻編隊の新銳砲艦が黑龍江をわが物顏に河面を狹しと堂々河波を蹴り、航行する滿洲國船舶を睥睨しつゝ運行するのに遇つた、此新銳艦こそソ聯黑龍江艦隊の中樞を形成し帶狀の河水を挾んで對抗する「河川を治むる者が最後勝利者である」との鐵則をこれ位しみじみと痛感したことはない、あくなきソ聯の侵略、挑戰に毅然として對抗するわが滿洲國江防艦隊の一大躍進とその陣容強化の必要をわが筆の續く限り絕叫せんとの決意を胸中深く固めたのである (頻原特派員)

領警署の盂蘭盆供養

十三日から盂蘭盆會で寺院で各家庭死者の靈を弔ふ供養が行はれるが領事館警務署に於ても十四日午前十一時から警務署に於て收監中死亡した藤岡一太郎外六名の死者に對する供養を西本願寺僧侶によつて來賓花輪司法領事を始め、西見檢事事務取扱及領警署司法係全員 監獄勤務員入監者全員參列して盛大に擧行正午

獵友會射擊會

新京獵友會では射擊の研究と練達に資するため十五日から二十三日まで陸軍病院西方小川畔でクレー射擊を行ふことになつた、なほ滿洲獵友會聯盟第一回定期總會は八月七日湯崗子溫泉で開催、會務報告現在の本部を奉天に變更等を議する筈である

終了

大分縣人會 双葉山後援

東京大相撲は二十三日から新京で擧行するが在京大分縣人會は双葉山後援會を組織し大に聲援のため、會員に同會から補助の上、一等券を割引して頒つから希望者は新發路滿洲商工日報社內大分縣人會事務所へ申込まれたいと

都市防護一般要領と家庭防空の立場

關東軍參謀 福島少佐講演 (三)

(七) 避難

第七は避難であります 皆様はよく「避難」といふ言葉を聞かれたと存じますが、往々に言ふ人と聞く人とその內容は別々なことを考へてゐる場合があります、避難はこれを時期的に考へてみるとイ、敵の飛行機がまだ根據地にゐる間の避難言ひ換へれば空襲警報發令前の避難とロ、もう一つ敵機が國內に侵入して今にも郡市を襲つて來やうとするやうな場合の避難、言ひ換へれば空襲警報令後の避難との二種に分け得るのであります

すこの兩者を比較してみれば前の方は時間の餘裕が十分にあるのでありますから色々な交通機關を利用して田舍の親類に行つたりすることも出來るのでありまして、通常永い間都市を離れるといふやうなことになります

これに反していよいよ敵機が追つて來るといふやうに場合の避難は都市によつても異りますが

時間の餘裕がせいぜい五分

間か十分間位しかありませんから大都市においては郊外に出る事等も出來ないものが多いし、交通機關等も全く利用し得ない場合が多いのであります

從つて勢ひ市內に堅固な建物等を利用して成るべく多くの公共用避難所を作り、これに近くの市民や市內の通行人等を收容することになるのでありますが、この種の避難所になる樣な建物の數なり收容力なりが大變不足してゐることは前にも申上げた通りでありますから何うしても收容者に制限が加へられることになります、こんな場合子供や老人や病人等を先にすることは勿論でありますが、これとても公共用避難所に入り得ぬ者が非常に多からうと存じます、「附添人」のこともよく問題になりますが、これも大分難かしいことになると思ひます場所がなければ致し方ないのであります

避難についてもう一つ申上げておきますが、風雲急になつた樣な場合に家財をまとめて都市から移轉するといふことは交通機關の關係上恐らく不可能であるか又は甚しく制限を受けることゝもう一つはわれわれの住む都市はわれわれの手によつてのみ護り得るのであつて若し全市民が逃げ出す樣な意氣地のない考へになつたのでは結局都市の護りを全うすることが出來ないといふことを肝銘して頂きたいのであります

(八) 警報

家庭に直接關係ある防空の課目は大體以上申上げた樣なものでありますが、戰時だからと申して家庭の全員がノベツ幕なしに仕事もせずに空をにらんでゐるわけには參りません、これがため軍の防空指揮に任ずる司令部では敵機が來れば一般に對して警報を出しこれがそれぞれの公共機關を經て迅速に各家庭に傳達される樣になつてをります。しかしながら傳へる方で如何に傳へる方法をとつても聞く方でその氣分がなければうまく傳はりません、從つて家庭においても色々工夫して普通の通り一般の仕事に從事してゐる間に何時警報があつてもこれを知ることが出來るやうにしておいて頂きたいのであります

…………

なほ都市の防護の內には家庭の防空と直接關係は淺いのでありますが、間接に關係を有することが二つ三つあります その一つは避難や諸機關の活動に伴ふ交通整理であり、もう一つは避難民や罹災者に對する糧食、被服等の配給であり、第三は暗黑に伴ひ惡事を働く者等に對する警護であります、これ等は何れも警察や市公署等の手によつて行はれそれ等の力の不足を防護團等が補ふ樣な仕組になつてゐるのであります

都市防護組織の大觀

以上述べました樣に都市の防護は各種の對策を必要とし、これに任ずる者も各官廳、市公署、各會社、工場、一般市民といつたやうに色々な機關が渾然一體となつて活動し、初めてその目的を達することが出來るのであります この防護組織は大きく區分すれば

一、公共的機關の防空と
二、家庭の防空と

の二つでありまして公共的機關の中には警察、消防、市公署の樣な官公廳は固より滿鐵電々會社、電業會社、各瓦斯會社等の如き機關をも含むのでありまして、これ等の諸機關は何うしても自己の責任として防空に關する計畫を樹て施設を行ひもつて市民の家庭防空と相俟て都市防護の完璧を期するものであります、しかしながらこれ等公共的諸機關が防空上なすべき事項は仲々の大事業でありまして、特に

有事の際には甚だ手不足を

告げる樣になるのであります これが爲多く都市においては御承知の防護團を結成して之等の機關の「防空動作」に强力なる人的援助を與ふる樣に仕組まれてをります

防護團は以上のやうな關係官衙を援助するばかりでなく市民自らなすべき事項に關してもその及ばざるを補ひ、或ひは市民の指導に任ずる等の任務に服するものであります、從つて各家庭の皆樣も進んで防護團と密接に連結し分らぬところはその指導を受け、又力の及ばざるところはその援助を求むる等一致して眞に一分のすきもなき防護を實施せらるゝやうお願ひする次第であります

…………

私の申し上げます事はこれで大體終つたのでありますが、要するに家庭防空に關する敎育講座の前座として家庭を中心とする一般の防空組織、就中家庭の防空業務の概念とこれに直接關係ある諸機關の業務との關係を申し上げたのであります 御忙しいところとは存じますが、更に明日以後六回に亘つて實施されまする詳細且具體的なる講座の內容を御聽取の上理解された事は勉めて之を實行に移し、有事の際自らの任務を完ふするは勿論自信を以て老人や御子樣方を保護し得る如くなさるゝ樣御願ひして本夕のお話を終り度いと存じます (完)

新潟醫大慰問團

新潟醫大學生皇軍慰問團松本大佐石本助教授外十三名の一行は十五日午後零時三十分着京圖線列車で來京一泊十六日午後二時四十分發列車で離京の豫定

新京工藝座談會

新京工藝座談會では十五日午後五時から三中井百貨店食堂で七月の例會を開催、山岸主計氏の「日本創作版畫について」と題する講話を聽く

協和會參與會議

協和會參與會議は十四日午後六時三十分から日滿軍人會館で開催した

連山關熊岳城へ 小學生今夜出發

各小學校の連山關山間聚落參加兒童百三十三名及び熊岳城溫泉聚落參加兒童百名は十四日午後十一時四十分發列車でそれぞれ出發の豫定である

運動

滿鐵柔劍道大會 新京代表

全滿々鐵運動會支部柔劍道大會は十八日奉天道場で擧行さるが新京支部からの出場選士は左の如くで十七日午後十時出發十九日歸京の豫定である

▲柔道部=大將金谷勇一(二段)副將東海林勇(同)中堅伊藤愼悟(一級)四將吉田正人(同)先鋒金井信重(同)補欠菅野牧(初段)監督藤原豐三郎▲劍道大將面高武夫(五段)副將古田欽一(二段)獄崎撤(一級)中村時夫(同)先鋒新村貞夫(同)補欠南原精次(一級)作間敏(一級)監督野崎利道(同)井上清彥

交驩水泳大會 新京豫選 來る十八日

水上無敵陣を誇る日大水上軍の至寶遊佐正憲、葉室鐵夫兩選手を始め水のホープをすぐつた滿洲遠征軍を迎へ新京では滿鐵主催のもとに二十日白菊プールで交驩水泳大會を開催することになつたが、新京出場代表選手の豫選會は十八日午後五時から白菊プールで開催する種目は自由型百米、二百米、背泳二百米、平泳二百米、リレー等で出場希望者は當日正午までにプール事務所又は滿鐵支社地方課社會係まで申込まれたいと

福昌勝つ 對興銀二回戰 7—1

なほ興業銀行本店對福昌公司二回戰は午後五時半より公學校に於て臼井松井二君の審判で福昌公司の先攻で開始されたが、勝頭興銀投手の不調に乘じた福昌公司は選球宜しく四球に出で滿壘となつた時松永君砕勁の三壘打をはなち先づ三點を入れて意氣大いに昂る興銀挽回につとめたが到底福昌の敵でなくあつさり七對一で福昌公司に一蹴された

▲スコアー

								計
福昌	4	1	0	0	0	0	2	7
興銀	0	1	0	0	0	0	0	1

伊闢勝つ 對森洋行戰 10A—9

本社後援第三回全新京實業軟式野球戰第四日森洋行對伊闢商店戰は十三日早朝七時から室町小學校に於て森洋行の先攻で開始し八時四十分十對九で伊闢商店が快勝した、スコアー左の通り

								計
伊闢	1	4	2	0	0	1	2A	10A
森	3	3	0	3	0	0	0	9

なほ五時半から熊平洋行對宮本商店一回戰は三笠小學校で興業銀行本店對福昌公司二回戰は公學校に於て擧行される

▲メンバー

(伊闢)	(森)
4小野	5杉戸
1大森	2藤原
2小方	3今井
6佐藤	9田名部
5江川	1森岡
8胡井	7石黑
7龜村	8林
3小	4祉本
7大場	6小塚

熊平勝つ 對宮本商店戰 7—5

同じく熊平洋行對宮本商店一回戰は午後五時三十分より三笠小學校に於て科部君の審判で熊平洋行先攻で開始されたが兩軍三回目に同點となり以後得點なく遂に補回戰に入り二回目表熊平洋行走者が二、三壘にある時八木君先づ三壘打をはなつて二點を入れ續いて猪野君の三壘打で更に一點を加へた、宮本商店二死の時藤井君ホームランをかつ飛ばして一點を奪取したが結局七對五で宮本商店が惜敗した、閉戰七時

▲スコアー

										計
熊平	1	2	1	0	0	0	0	0	3	7
宮本	3	0	1	0	0	0	0	0	1	5

家庭

家庭婦人に相應しい浴衣

アッサリと上品な身嗜み

▼…夏は浴衣といふ階級のないいゝキモノがありますから、これを巧に使ひわけて召せば、家庭で雑用におはれていらつしやる方にでも、何時も清潔ないゝナリが出來ると思ひます。浴衣の地質はボイルや三本絽などは、皺になり易くて家庭着には適しませんし、眞岡は地が厚過ぎて感心出來ませんまあ細眞岡か手拭地がよろしからうと思ひます。そして晝間召す物は比較的濃い色の物―藍地に白を染め出したもの―をお選びになることです。

▼…さうすればお仕事をなさるにも、又急の來客に應待なさるにもよろしいと思ひます。そして白つぽいほんとに浴衣地らしい物は一日のお仕事がすんで一風呂あびた後に召すことになさればよろしいと思ひます浴衣はエリ巾を狭く仕立てゝおいゝきになつて、召す時もずつと拔衣紋にしてゆつたりと着裾もあまり長く着ない方が輕やかにみえます。帶もなるべく下に小さく結んだ方が涼しげにみえます。半巾帶は如何にも浴衣にふさはしい帶ではありますが、形よく結ぶのに骨が折れます。

▼…先づ中巾のハカタの單衣帶をお太鼓に結ぶのが浴衣の場合には一番好もしい。又名古屋帶もお太鼓になるところだけ心を二重に入れておいて、結ぶ時は一重にして背負つたのは輕くて形のよいものです。話の大部分が浴衣のことになりましたけれども、夏の結髮やお化粧はそれが家庭婦人である場合―勿論あつさりした身だしなみはわすれて欲しくないものです。忙しい上に暑さが加はるので、つい億劫になり勝ちなものですけれど、關心を持ちながら亂れるのは全然無關心なのよりは必ず美しさが保てるものです。

▼…お化粧は肌の色の水白粉を化粧水を下地にした上にさつとつけておくこと、エリの白粉は浴衣の場合にはない方がむしろさつぱりと清潔にみえると思ひます。又結髮も洗髮の束ね髮の方がキレイにみえます。アッパッパを召して、髮だけ大きく結つたのはことにいやなものです。

なければなりませ

絶對に禁じ

ん。それ以外の時期に於ては絶對に禁じる必要はありませんが、姙娠中は何れの時期を通じても、出來得るならば長途の旅行は避け度いものです姙娠初期、殊に三、四ヶ月が最も流産を起し易い時期であります。比較的安全な時期は六、七、八ヶ月であります。然し七、八ヶ月は胎兒の位置の變り易い時期ですから、遠い旅行をしました時は、そして旅行先に暫く滯在する様な場合は、醫師なり産婆なりによつて一應胎兒の位置を診て貰ふ必要があります。

日常疲勞を感じます時、又は腹部が緊張して、胎兒が下つた様な感じのするとき、或は輕い陣痛様の痛みを感じます時は、就床して安靜を守ることが必要であります。

姙娠中の勞働にしましても旅行にしましても、その方自身の抵抗力如何によることでありまして、一律一體に云ふことは出來ません。つまり姙婦は、病人でもなく、健康體でもなく、その中間を行くべきものなのであります。

ります。なるべく家人に托さなくてはなりません。登山、テニス、水泳等は絶對に禁じ長途の汽車、自動車、馬車等も禁じなければなりません。姙娠三、四ヶ月及び十ヶ月のなかば以後は、長途の旅行は

適度の運動は効果的　せめて庭を歩け

産婆　山口孝子さん談

いろいろありますが、運動不足が大いにわざわひする様に考へられます。多が長く寒さが厳しい爲め自然家にこもり勝ちとなりますから、運動が不足するのではないでせうかお買物等もあまり遠くないところは、乗物を利用なさらず疲勞しない程度になるべく歩いて頂きたいと思ひます。

家庭にあつての平素の仕事は、過激又は過度にならない範圍内では差支ありません。むしろまめに立ち働くことこそ安産の秘訣です。姙娠したからと云つて、急に體をいたはり過ぎ、我儘な生活をすることは、安産を望むものゝ避くべきことであります。

けれども過度の勞働は又避けなければなりません。長時間のミシン、洗濯、張物、裁縫等はよくありません。

何日分にためて置いて、一度に澤山洗ふ様なことを避け、毎日少しづゝ洗ふ様にすることが必要であります。又かゞんでゐることはよくありません。空箱等を利用してたらひの台とし、立つてゐることがよいと思ひます。

洗濯物等も

適度の氣温

新鮮なる空氣中で適度の運動をすることは是非必要なことで、精神をさわやかにし、食慾を増し便通を調節する効果があります。出來ますならば毎日一定の時間散歩することと等は誠に結構なことです。運動になる

のを持ち、或は階段を頻繁に昇降する等すべて下腹部に强い壓の加はる仕事は避けなければなりません。

引越、大掃除等も注意すべきものです。激しい疲勞から流産早産をひき起すことがあ

姙娠中の攝生

ばかりでなく、日光を浴びますことは、骨質のよい赤ちやんの生れるもとゝなります。當地の様に日光の不足する土地では嚴寒中は止むを得ませんが、他の時期にあつては、散歩は事情が許しませんでしたら、せめて毎日庭に出て頂き度いと思ひます。日光の不足が主なる原因であると云ふ佝僂病の小兒が年々多くなると聞きます。生れてからの日光の不足も勿論原因となりますが、姙娠中の日光の不足が又大いに原因となることを了解して頂き度いと思ひます。

又滿洲にお住ひの方は分娩に際し陣痛微弱が多い様に思はれます。陣痛微弱の原因も

裁縫は上半身をかゞめ、根をつめて仕事をしますので、心臓の鬱血を來しますから、時々立つて氣分を轉換することが必要です。ミシンも下腹部に衝動を與へますので長時間踏むことは避けなければなりません。

その他坂路の歩行、重きも

けふの番組

（M・T・O・Y新京放送局）十五日（木曜日）

××朝××　〇、六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇中等滿洲語講座（大連）　講師　秩父固太郎
七、一五朝の音樂（大連）
引續き　防空ニュース
七、四五建國體操
八、〇〇氣象通報（大連）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭防空講座（四）（哈爾濱）　防空の實際的方法　岡村部隊本部附工兵少佐　長沼幸
一〇、三〇家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連、新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）
××晝××　〇、〇五晝の演藝（レコード）
〇、四〇ニュース（東京）
引續き　防空ニュース・ニュース
一、〇〇經濟市況（大連、新京）
二、〇〇國防婦女會新京朝鮮人分會結成式實況（鮮語）―新京普通學校講堂より中繼―
三、〇〇經濟市況（大連）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）
引續き　防空ニュース・ニュース
四、三〇經濟市況（大連）
引續き　野球試合實況（新京）　京西公園野球場より中繼　撫順對新京
五、二〇ニュース（鮮語）
ラヂオコメデイ（鮮語）―野球なき場合放送―
女教員（大連）　娘々廟　一行　少年少女二十一名
××夜××　〇、六、〇〇講演（大阪）―野球なき場合放送―　大阪港に就いて　大阪市長　坂間棟治
六、三〇子供の時間（大連）
一、棒の雷
二、赤い牛の子
三、こでまりの花
四、夜の大工さん
競曲　平山頼子
唄　村上賀壽江
拳
六、五〇コドモの新聞（東京）
尺八　増田勢山　村岡花子
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇防空教育講座（三）家座に於ける防彈施設　關東軍司令部附工兵中佐　久保禎三
八、〇〇思ひ出の聲（東京）
一、喜劇　萬才大學
二、新内　曾我廼家蝶六　關取千兩幟
三、トーキー　坊ちやん　鶴賀吉之助　宇留木浩
八、一〇ラヂオ風景（東京）
鶯の饗宴　構成並演出　鹽入龜輔　司會　松井翠聲
伴奏　東京ラヂオシテイオーケストラ　市丸　外
八、五〇浪花節（名古屋）―名古屋公會堂より中繼―　紀の國屋文左衞門　遠州灘乘切り　雲井式部
九、三〇時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、〇〇防空ニュース
一〇、〇五管絃樂（哈爾濱）―鐵路倶樂部野外演奏所より中繼―
ハルビン交響管絃樂團　指揮　シュワイコフスキー
一、絶望の淵に踊る魂の群　網代榮三作曲
二、ヅビノシカ　ウラジノフ作曲
三、ダンスアフリカ　ウイジエニー作曲
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）

東京無線

鶯の饗宴・ラヂオ風景　涼風唄の座談會　市丸、喜代三、美ち奴らが歌ふ

後八・一〇（東京）

構成並演出　鹽入龜輔
司會者　松井翠聲
伴奏　東京ラヂオシテイオーケストラ

このラヂオ風景は肩の凝らないお盆向きの放送としたもので、夏の夜の涼風の縁臺のひと時の慰安として歌謠スター連の唄の座談會といふ形式によるもの、レコードのスター競演を次々とマイクの前で演じやうといふのである。この梗概は…花形歌手達が集まつてゐる處へ

松井翠聲さんがちよこ〳〵と現はれると

平井英子さんを見付け、オヤ何時の間にか大人になつてしまひましたねと驚く英子さん負けてゐず年をとれば大きくなりますわと「あたし大人よ」の歌で應酬、この二人の話が進み遂に童謠「證城寺の狸囃子」を唄はされる

水島早苗さんは溜息をしながら歌ひ出すが布哇に長く居たといふので「思ひ出のホノルル」で異國情緒を漂はせる。銀座で松井さんがふと耳にした聲が

青葉笙子さんの「街の夜嵐」そつくりだといふのであの日本趣味豐かなメロデイとなるが、次に「小夜の中山」を唄つて旅行の記憶を蘇らせる。そこで司會者は

美ち奴さんに一つといふので「お吉ざんげ」となるが今度は松井さん自ら「あゝそれなのに」を唄つてお株を奪つてしまふ。滿洲の暑さを思ひ出し「滿洲ぶし」を一節唄つて樂土滿洲を讃へて次に移れば

松島詩子さんは「さらば愛兒」を出して映畵氣分を味はせ「君と歌へば」になる。同郷の

松原操さんは「東京セレナーデ」を所望されるが同じ學校出身で仲好しの間柄二重唱「花」を唄ひ次は爽やかな夏の朝「キャムプの朝」後に控へた喜代三、市丸の二人は遠慮し合つてゐるがジャンケンで

喜代三さんの「鹿兒島小原節」が出る。芝居好きの喜代三さんは好きな「夜嵐ざんげ」を唄ひ市丸さんの番

市丸さんは踊りが踊りたいといふが此處では皆さんに見えないからと云はれ「お夏可愛や」でお夏の氣持だけでも出さうとする。松井さんが今度は「伊那節」をといふので彈き語りで「伊那節」となる。一わたり歌が終ると皆さん御苦勞でした。ではこれから東海道の旅行は如何といふことになるが種々都合もある事とて……、然しそこは智慧者揃ひ咽喉揃ひ忽ち名案新鐵道唱歌の合唱で旅行氣分を出して散會といふ趣向。

思ひ出の聲

鬼籍に入つた藝界の人を偲ぶ

後八時　東京

今年もお盆となつた。昨年は近代日本の「名士の聲」を偲んだので、此度はこの一年間に鬼籍に入つた藝界の人の聲を新盆の魂祭りの代りに放送する。

一、喜劇「萬歳大學」　曾我廼家蝶六

曾我廼家五郎一座の名ワキ役で謳はれた丈が、ありし日五郎丈と共演したその一節（ビクター・レコード）

二、新内「關取千兩幟」　鶴賀吉之助

女流新内の名手として、又常磐津をもよくした吉之助の洗練された節廻しをレコードによつて。

三、トーキー「坊ちやん」　宇留木浩

P・C・Lで彼が當り役として賣り出した「坊ちやん」の聲をトーキーから再生する。

紀の國屋文左衞門　遠州灘乘切り　雲井式部が口演

〔後八・五〇　名古屋〕

江戸では毎年十一月八日にフイゴ祭が行はれ、蜜柑をまいて緣喜を祝ふのであるが、正保元年の霜月は續く嵐に紀州から蜜柑を江戸へ送る事が出來ず、江戸では祭にも困り果ててゐる。紀の國屋文左衞門は江戸の人の難儀を救ひ且富を得るは此處ぞと決死の船頭を募り、自ら車先して船にのりその名を幽靈丸と名づけ決死の意氣もものすごく紀州を船出して遠州灘の荒波を乘切り、無事江戸に着き紀文大盡とうたはれる迄に名をなし巨萬の富を得るといふ一席。

三重苦の聖女
ヘレン・ケラー小傳

大尉の娘 (1)

ヘレン・ケラーは一八八〇年六月二十七日、北米合衆國アラバマ州の北部にあるタスカムビヤと呼ばれる町に呱々の聲をあげ、最初に惠まれた女兒のこととて、兩親の溫い哺育のうちに愛らしい健全な兒として生ひ立ちました。父親は端西人の血を引きアーサーケラーと呼ばれ、南方聯盟軍の大尉でしたが當時は葡萄と薔薇に蔽はれた田園の住宅で、安樂に暮らしてゐました母のケイレアダムスは父の後妻で、父より二十歳も年少でありました。

ヘレンは生徒六ヶ月目に、片言ながら『こんにちは』と挨拶したり『お茶・お茶』とはつきり發音して周圍の人の目を瞠らせたそうです。丁度一年目に、母と一諸に入浴中のことですが、窓の外に見えた木の葉の影の美しさに見惚れて、母の膝から辷り下りるや一足二足たどたどしく歩み出したと思ふと、どつかり尻餅を搗いたことがありました。

一年九ヶ月目に原因不明の熱病に罹りました。醫師も見離す位の大患でしたのに、夕刻に至ると突然熱は去りました、でも、幸か不幸か命を取り止めましたものの、可愛そうにその時より以後永遠に、彼女は光と音とから隔離されねばならなくなつて。仕舞ひました病氣の後で彼女の舌に殘つた語は、水を意味する『ウオー・ワオー』たつた一つでしたが、其の後いろいろ研究の結果、今日では多少聞きにくくはあつても、人前で話せる程度にまではなりました。

一瞬の病魔の惡戯に禍されて、盲聾啞の三重の桎梏を加架せられたヘレンは、パンが欲しい時には、パンを切り、バターを塗る手眞似でそれを表はし、アイスクリームがたべ喰たい時は、アイスクリーム製造機の把手を廻轉の恰好をして見せながら、舌先で『おつしい、おいしい』といふ表情をしますと、お母さんはその意味を理解して下さいました。

母と子との間にはどうやら意味が疏通しましたし、家庭の中では來客があつたり、母親が外出したりすること位はどうやら判つたらしいのですが、母や友達が、何か用事のある時には物を言つてゐるのを氣附くに至つて、他人の唇の動きを指先で觸つて見たり自分も唇を動かして見たりして、何となくいらだたしくも物狂ほしい眞似をしましたが力及ばず、が何とも至し方ありませんでした。

部屋の中を歩けばよくつまづくし、食事の合圖のベルが鳴つても知らん顔してゐるし手眞似身振りでやつと意思表示する我子の不憫な姿を見せつけられた兩親の氣持は、どんなであつたでせう。

愛嬢の將來を心配して、各方面の名醫の診察を受けさせてゐるうちに、眼を開くことは到底不可能であるが、相當高い知能を持つてゐるから充分教育して見たらよからうと勸められたのでケラー大尉はワシントンロアンキサンダーグラハム・ベル博士を訪ねてヘレン將來について相談しました。ベル博士は電話機の發明者でありますが、母親が聾であつたため盲聾啞の教育には深い關心を抱いて居りました。ベル博士の知遇を得たことはヘレンの生涯にとつて實に有難いことでした。ベル博士の紹介により、一八八七年三月ロアン・マンスフキールド・サリヴアン先生を、家庭教師としてタスカムビヤの邸地に迎へることが出來たのでした。

我儘で癇癪持ちで亂暴で、まるで野獸のやうだつたヘレンは、サリヴアン先生の慈愛と忍耐と熱心とによつて、漸く心の窓に光を導き込むことが出來ました。先生が來られてから三月目には、見ざる聞かざる言はざるの三猿のヘレンは、三百語ほどを理解し、生れて初めて手紙を書き、五月目には五百語以上も覺えました。この時ヘレンは日本流に數へて八歳でした。

初めは、サクヴアン先生が何人であるか全然わからなかつたので、ヘレンは指話を覺えると最初に『貴方は何方ですか』と訊ねました。サリヴアン先生は『あなたの先生です』と答へましたので、その後五十年に及ぶ今日迄ヘレンは、サリヴアンを何時でも先生ティチアーと呼んでゐます。

(二等當選作) 暮明 (中)
草池澄雄

「康夫さん、今夜一諸にお夕飯を頂きましようよ、わたしの部屋に來て下さいませんか」

といふのだつた。

小母さんの細い心遣ひは食事の上にも表はれて居た。四十を越したと言つて居るわりに随分若く見えた、まだ卅七八にしか見えなかつた。そして態度の一つ一つにもどことなく上品で相當の家に育つた様に思はれた。少し氣まりの悪い思ひをしながら彼は箸を取つた。二人は默つたまゝ食事をすませた。女中に林檎を持つて來させその一つを女中にやり、色の良いのを器用な手付きで皮をむいた、彼にすゝめ、も一つのをむきながら彼に話しかけた。

「如何が、此の頃の工合は？大部顔色が良いぢやありませんか」

「えゝ 別に……」

と言つて默つてしまつた、熱はあまり出なかつたけれど、病氣が進んで居るのか居ないのか、自分では、わからなかつたからだ。

「あまりお考へになるといけないのよ、呑氣な氣持になつたら直ぐなほりますよ、まだノ〳〵輕いんですもの」

こんな病氣になつて呑氣になれるかしらと思つた。なつた者でなければ此の氣持はわからないよと心で反駁したが口には出さずに少し痩せた様に思はれる手を撫ぜて居た。

「元氣を出す事が第一ね、悲觀すると余計悪くなるばかりですよ、なんでもそうでしようけど此の病氣は特にそうぢやないかしら」

と言つてむいた林檎を口に入れた。

彼も無意識に一つ取つてその手を膝の上に置いて呆んやり眺めて居た。

「家の子供もね、此の病氣にやられたんです。だから私は此の病氣が憎くてたまらないんです」

と言つて小母さんは下を向いた。

「そうですつてネ、お幾つだつたんです」

「十九でした。丁度中學を卒業して上の學校にいこうとした時始めてわかつたんです。一時は良くなつたんですけれど、風邪を引いてまたぶり返して急性になつてしまつてとう〳〵その年の暮に亡くなつたのです」

「お氣の毒ですネ、まだこれからではないですか」

と彼は言つて自分の事を考へた、自分だつてまだ〳〵これからだ。二十三やそこらでやられちやたまるものかと思ひながらも若しや自分も今年中にでも死ぬんぢやないかなと思ふと體全體がぎゆつと締つてきて無茶苦茶に駈け出し度い氣持になつた。

「あなただつてこれからよ、しつかりして下さいな、あんまり悲觀しないで、家の子もだの、あなたの苦しんだ様に苦しんだの、あなたの苦しんで居られるのを見ると亡くなつた進が苦しんで居る様で、とても默つて見て居られなかつたんです。それにあなたの性質がとても進とそつくりなんで初めからあなたが懐しかつたんです、それでわたし……あなたに家の子になつてもらいたかつたのでした。

ホツホツホツ びつくりしてでも眞實うだつたのよ、わたし内地の方には身寄りの者が居ないんです。内地の方にはわたしの實家がありますけれど主人の家は遠い親類ばかりそれもごた〳〵があつて今は絶縁狀態になつてしまひました。進が死に主人が亡くなつてしまつたので跡が無いわけです。實家の方からは歸つて來いと度々言はれますけれど主人と子供が亡くなつた此の土地がなつかしいので歸りたくないのです。ひとりで暮しても淋しいので主人が殘していつてくれた財産が少しあるのでこんな下宿みたいな事をして居るんです。これも死んだ子供が忘れられないのであなたの様な若い方を見て自分の子の様にして暮して行たかつたのです。でもどつちみち實家の方に歸らなくてはならないだろうと思います。

ホツホツホツ 話しが横道に入つちやつたわ、さあどう林檎をもつと召上れな、まあどうしてそんな顔をして居るの、嫌ですね。何を考へて居るの、家の子になることですか、でもあきらめましたわ、あなたがこちらに來うれてからお兄さまか亡くなつたんでしよう。あなたには随分悲觀して居られましたわね、私も悲觀したわ、お兄さんか居られると聞いて居たものだから、お父様にお話して是非家の子になつてもらいたかつたのでしたけれど、お兄さんが亡くなられてしまつたのでは仕方がありませんから……ホツホツホツ ひとり決めよ、びつくりしたでしようでも眞實の話よ。それから此んな事言つては失禮ですけれど、あなたの體の事わたしにまかせて下さいませんか」

と小母さんの長話は切れた。

今年竹
山中千代子

この朝の藍濃く晴るゝ大空に流れ涼しき七月の風

七夕の夜明けに洗ふ黒髪にふるさととの川なよらなりしか

今の世に機は織らねど七夕の朝縫ひそめむひとのゆかたは

はさみ入れて裁ち目すがしき染浴衣藍溶くる空に涼風わたれる

笹なくて木にはかかげし七夕の黄紙紅紙俥よりみる

やさしくてなに祈りけむ滿洲の子等ぬかゝげし黄紙紅紙

むすび置きと稚き祈りきゝ給ふ今宵の光やさしくもあるか

あひ逢ひて清き慾りをつくさなむ竹に祈らむ來む年もまた

星は數多大空にしもかゞやけど女の待てるはただ一の星

ひとゝせにいちどの逢ひに傾けて女星は墮ちず輝くものを

高窓のレースに透きて星蒼しはなびらとしも稚兒眠る闇

うるみありて今宵の星よしたしけれ七夕すぎて木々さわぐ音

ゆれゆるゝつまみ響矢車の花に朝の露こぼれつゝ

わがこころさびしといへば母上の植ゑてたまひぬ向日葵の花

日に向きて黄金のひまわり花咲けばわれのうれひは消ぬべく思ほゆ

朝戸出のひとを送りて來し道に野菊は咲きぬ濃き紫に

書架

△内外經濟報(七月號) 滿洲方面之産業資金問題與新京交易所股票上場之必然性、德國對外經濟動向及其與日滿之關係ほか資料、特載・經濟時報等滿文で掲載(新京吉野町三丁目七、日滿實業協會滿洲支部、二十錢)

△時事公論(六月號) 蠟山政道「近衛内閣に寄する書」田中香苗「支那の經濟五ヶ年計畫とは何か」等(東京市本郷區湯島三組町八一、時事公論社、五十錢)

△勤業(百一號) 名古屋特産品紹介誌(名古屋市役所内、名古屋勤業協會)

△産業之日本(六月號) 吉田已之吉「近衛内閣の複雜性」西村曉川「北支は東亞ブロックより離脱か」滿洲國だより等掲載(東京市本郷區湯島三組町八一、産業之日本社、五十錢)

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

本日「王爾官」休載

涼追ふ往來にも ながれる緊張感
流石に歡樂街も光を沈めて 演習にも時局を反映

警戒、非常兩管制の意味徹底を缺き遺憾ながら落第點をつけられた國都防空準備演習は新京統監部からの嚴重なる注意喚起要望の中に十四日その第二夜を迎へた、參加全員に果してどれだけ意義徹底したか

附屬地繁華街方面を午後十時一巡してみると朝日通りでは兒童の一團が花火を打上げて嬉戯してゐるのが先づ第一に目に映じた、保護者達の愼重なる注意が欲せられる、日本橋通、中央通り等大建築物のある大通りは比較的早くより暗黑を呈してゐた、南廣場平康里、或は三笠町料理店附近は大體無難の樣に見受けられた、新京銀座日本橋通り等は夕涼みがてらの遊歩客常とかはらず雜踏し、防火設備を施した露店をひやかしてゐる客が多いのも緊張味の中に漂ふ一つの微笑しい風景であり軒を並べた各店舗は比較的完全に警戒管制下のもとに營業を續けてゐる、ネオン界の景氣を銀座新道に打診してみると、新設のネオンアーチも、各グランドカフエーのネオンも今やすつかり光茫をひそめてしまひ醉客の影もめつきり尠く客足は平日の約三分の一、殊に今次の演習が北支事變の結果實感をもつて迫つてゐる事實は昨年十一月の防空演習に際しては、心構の弛緩からボックスの隅に獵奇を求めて殺到した不心得な醉客によつて、かへつて超滿員を示したものであつたが、今度はさう言ふ不心得は激減してゐる、營業的にみれば當業者にとつては相當の打撃であるのは疑ひないが、かゝる非常時局に際してはなほ一層國都市民の緊張を促したい、かくて星空を一掃するが如く右往左往するサーチライトの轉滅の中に警戒管制第二夜は拂曉まで繼續されたが、統監部の實施報告は第一夜の不名譽を果して挽回するであらうか、國都市民にとつてそれは最も待望される可きものである

警戒管制第二夜
各防護團の活躍

【寫眞はきのふ夜の特別市防護團本部】

附屬地防護團

新京防空準備演習の警戒管制第一夜は非常管制との判別認識不徹底からあだかも非常管制に近い實施によつて警戒管制として失敗に終つたことに鑑み第二日目はさらに完全なる警戒管制實施に完璧を期すべく迎へられたがこれに先立ち藤島附屬地區防護團長は某國との對外關係逼迫に伴ひその狀況偸安を許さず就ては團員各位は勤務の過重に伴ひ相當苦痛なりと思料するが第一線に於て皇國の爲め生命を賭して奮戰しつゝある將士に想ひを致し任務に萬全を期すべしとの意味を通ねた團員激勵の通牒を發した、これを接受した各團員は旨を體しまた前轍を踏まずと意氣いやが上にも昂る、定刻前新京署樓上附屬地區防護團本部には藤島團長稻葉副團長以下係員陣取り、各分團は各班八方に散つて所定の部署に着き警戒取締りの爲めに總動員された新京署管下警察官と連繫をとつて徹夜不休の活動が續けられた、黑一色鬼氣迫る如き物凄さの前夜に變つて第二夜は吉野町、祝町及日本橋通りの盛り場には反射光線がショーウヰンドに映え、漫歩の人波も舖道に溢れて一抹知やかな雰圍氣が見出され當局及團員の活動と指導の裡に警戒管制第二夜を終つた

特別市各防護團

防空準備演習第二夜十四日は十三日の不成績によつて再び警戒管制を實施した、この夜特別市五防護分團では警戒管制の萬全を期するため午後七時までに警察官並びに分團員を各警察署に召集、それ〴〵署長から非常管制と警戒管制との相違點に就いて詳細な注意があつて各員は十三日同樣七時五十分管內各派出所に配備を終つて

いよ〳〵午後八時狀況開始と同時に署長を陣頭に分團員の管制狀況の點檢が始められた、狀況開始を知らずそのまま點燈せるもの、相變らず非常管制を行ひ窓掛けを使用してゐるもの等警戒管制不履行者に對しては分團員から警告注意をあたへ一般市民の警戒管制に對する理解徹底に努めた

この夜新京聯合防護團長徐特別市長は九時から約一時間に亙つて管內巡視を行ひ分團員を督勵、警察官で編成する犯罪防止班は徹宵して薄明の夜を狙ふ犯罪の防止に活躍した

鐵道防空本部

防空準備演習第二日目を迎へに新京鐵道防空本部では第一日に比して更にその完璧を期するため稻川本部長は日沒前から本部に詰めかけ係員を督勵し演習開始の午後八時、警戒管制命令とともに構內は一齊に滅光され、出札、改札、ホーム、助役室はいづれも通常通り、旅客事務取扱ひは圓滑に運ばれ前日に增して効果を收めた

効果的指導要望
移動、室內燈火とも光度に注意
統監部注意事項發表

新京地區準備防空演習第一次の成績は夕刊既報の通りで、なほ一層全員の周到なる注意が喚起される必要があるが、新京統監部に於ける第一回實施成績報告委員會終了後統監部では十四日午後左の如き注意事項を重ねて發表した

一、今次の實施成績に鑑み警戒管制（燈火管制）には市民一般に於ても特に力をそゝぐ事が必要であるが、各防護團等の指導者方面に於ても適確なる認識をもつて効果的な指導をなすべきことが切望される

一、移動燈火（自動車、馬車、洋車）の管制は未だ區々で統一なく折角設備をしながら規定以上の光度を放つて疾走するものがあつた、甚しきものに至つては光度がなほ千米程度に達するものがある、かう言ふものはなほ一層直接燈火を覆ふ黑布等の厚味を愼重考慮する必要がある、また之に反し全然無燈火で疾走するものもあつた、警戒管制中かゝる狀態にて交通事故等を惹起し混亂に陷る事はそれだけ敵に乘ぜらるゝ第一歩であることを知る可きである

一、室內燈の規定以上の燭光を用ふる場合は警戒管制中と雖もカーテンをかける必要がある、若しカーテンを使用せざる場合は電燈カバーの厚味あるものを用ひ光度を弱小にする必要がある

一、なほ室內燈カバーは紅布表に黑布を內にすべきであるが、警戒管制中その紅布が外部から見えても差支へないことになつてゐる

以上の如き點に於て直接實施者と指導者の間に種々意見の相違があり衝突が惹起する原因となるから、その適否の判斷を相互にて誤らぬ樣注意する事が肝要である

配備狀況巡視 徐防護團長等

新京聯合防護團徐紹卿團長、關屋副團長は鯉沼、宍田各幹部を從へ十四日午後九時半滿鐵特殊防護團本部を訪れ、菅野團長より情況を聽取し、各配備狀態を視察し、更に附屬區防護團並びに、附屬地各分團を巡視後、城內に赴き同各分團を巡察同十一時半本部に歸還した

三十萬圓の献金！
在京特殊會社團体から 北支前線皇軍將兵へ

不擴大方針を堅持して隱忍自重して來た我が方の勘忍袋の緒は遂に切れた、此上は斷乎支那膺懲の一事あるのみ、廟議既に決するところあり冀北の山野に日本健兒日頃の腕前を見せる日は來た！戰雲を前に全國民の現地皇軍支援の熱は彌が上にも燃え上り恤兵金は早くも數萬圓を突破し山なす慰問袋は陸續と運び込まれてゐる財閥關係者また財界關係のことは萬事引うけた、政府は心置なく事に當つて戴きたいといふまことに涙ぐましい擧國一致ぶりである帝國生命線の第一線を確守する邦人の赤誠これまた內地に劣らぬ美談佳話を綴つて當局を感激させてゐるが在京特殊會社團體では現地皇軍支援に關し會合協議の結果金三十萬圓を國防献金することに決定代表者田中中銀總裁は十五日右献金を携へて關東軍司令部に植田軍司令官を訪問して手交する筈である

名前も告げず 廿圓の献金 に一婦人

數限りなき抗日侮日が嵩じて遂に勃發した今次の北支事變に對し我が國民は朝野をあげて一致團結支那膺懲すべしと正義の叫びをあげ皇軍に對する銃後の花は佳話挿話を織りまぜて美はしく咲き匂つてゐる、國都新京に於ても號外が巷に飛ぶに從つて事變献金の涙ぐましい話題があとからあとへと續いてゐるが十三日一見二十五六歲人品いやしからぬ婦人が嚴めしい新京憲兵隊の門をくぐつて隊長に面會を求め

まことに僅かでお恥しい次第でが現地皇軍恤兵金のうちにでも加へて戴けば幸ひでござゐます

と二十圓在中の紙包みを差出し名前も告げずに立ち去つたこの一婦人の行爲に對し隊長はもとより司令官も非常に感激してゐた

鄕軍宣言文發表
時局に處す・昨第一分會總會で

帝國在鄕軍人新京聯合支部第一分會では十四日午後四時から記念公會堂食堂に於て定時總會を開催、役員改選の結果新分會長に顯見勇造氏副長に奧田內正幸氏永井金二次氏それぞれ推薦就任をみ、東方遙拜、勅語奉讀後會務、會計報告あり、新任分會長の挨拶來賓祝辭等ありたる後、今次勃發せる北支事變益々急を告げ緊迫せる時局柄緊急提議で左記宣言文を分會長より發表四百五十名に達する出席者一同の萬雷の如き拍手裡に異議なく可決、最後に在鄕軍人會歌、萬歲三唱裡に七時過ぎ目出度散會した

時局彌々重大を加ふ、我等鄕軍は本來の使命達成に協力一致國策の遂行に邁進すべし殊に現地に隣接せるが故須らく沈着冷靜以て一觸即發の危機に善處せんとす

帝國在鄕軍人新京聯合支部第一分會

闇に挑みかゝる
この非常時に不埒千萬な男

警戒管制下の全市が寸前をも分たぬ黑一色に包まれた十三日午後九時五十分頃新發屯居住某會社事務方女中小澤花子さん（一九）＝假名＝はその夜一家外出中で一人居の無寥と屋內の暑苦しさに玄關に出て涼を求めてゐる折柄、通行中の見も知らぬ一人の男が暗やみの中から忽然と姿を現して花子さんに近づき道を尋ねたので何心なく親切に教へてやつたが件の男は折柄の暗黑とあたりの人氣なきに十九娘の豐滿な肉體に魅惑を感じたか矢にはに躍りかゝり不埒な行爲をいどみかゝつたが驚いた花子さんは必死に抵抗、大聲で救ひを求めつゝ脫兎の如く附近の警察官派出所に飛び込んで事情を話した、この非常時にもつてのほかと派出所詰警官は折返し花子さんと同道犯人逮捕に現場に急行する途中運よく件の男に出逢ひ犯人はあつけなく逮捕された

この不逞漢は本籍佐賀縣西松浦郡山城町、現住所日本橋通り一丁目ノ二畑田佐一郎（三三）で目下領警署に於て嚴重取調べ中である

花子さんは幸にして危機一發の間に魔手を逃れ乙女の純潔を汚すことなくすんだがこの事件に鑑み當局は語る

防空演習と言ふ國家非常時の機會をねらつて不埒を働くは言語同斷捨ておき難いことである、今後に於ても斯かゝる輩が續出するに於ては斷乎嚴罰に處する方針である

竊盜捕はる

奉天省審陽縣生れ住所不定揚國棟（三八）は本年四月三日大和通一五アヘン館ボーイ曹福南より金側時計一個時價十五圓を修理してやると稱して詐取、四月五日大和通二二、遠陸堂徘優王惠琴（二三）より五十圓を演領、四月六日吉野町伊藤時計寫眞店より家人の隙を伺ひクローム側時計一個を、七月三日同店にてクローム時計八個及十六型時計六個時價計二百五十圓を竊取入質等其他數々の惡事を働いてゐたが十三日午後日本橋通り路上に於て折柄警戒中の新京署財前、千葉刑事に惡運盡きて逮捕された

副頭目"青合" 潜伏中逮捕

首都警察廳馬巡官以下五名は十三日拂曉匪首天邊好の副頭目格双城堡警察署管內蓬萊山屯于海順（五十二）こと「青合」を自宅に襲ひ逮捕した大同三年匪首天邊好の部下に投じ以來伊通及び長春兩縣下を股にかけ惡事の限りを働き既に判明した罪業だけでも人質二件（身代金七千圓）放火三件に上つてゐる、昨年十月匪團解散とともに前記住所に農民を裝ひ潜伏中を逮捕されたもので同時に床下柱の中に巧妙に隱匿したローヤル拳銃一挺、彈丸二十發を押收した

六百圓スラれる

遼陽朝日通り滿蒙棉花社員宮崎哲唱氏は十四日午後二時十分新京驛發あじあで歸社するため新京驛ホームに出で列車に乘り込んだが發車直前ズボンのポケツトに捻ぢ込んでゐた百圓紙幣五枚、十圓紙幣九枚合計五百九十圓を出札口からホームにいたり座席につく間に何者にか掏摸れてゐるのに氣付き驛詰警官に屆出でた最も混雜する隙を窺ふ驛、列車專門のスリが横行してゐるらしい

"身を捨て、奉公する覺悟"
薄田治安部次長着任

警視廳警務部長から初代治安部次長に就任した薄田美朝氏は東京及び大連まで出迎への野間事務官、淺子事務官を帶同し十五日午前六時廿分着「あじあ」で驛頭治安部關係者筒井、竹內處長等多數の出迎へを受けて短身來京、直ちに自動車を驅つて新京神社、忠靈塔に參拜の後ヤマトホテルに入つたが車中往訪の記者に

滿洲は全くの白紙で何も抱負感想といつたものはないよ

と健康そのものゝ如き肥滿の小軀を展望車に寛がせてボツり〳〵左の如く語る

今朝大連に着いたのだが車上の人となつて非常にのんびりとしたすが〳〵しい氣分を味はつた、大正十二年頃朝鮮の警察にゐたので豆滿江沿岸、間島地方は幾分知つてゐるが、こちらの方は全然知らない、一應落付いてから管下を巡視して今後の方針を決めたいと考へてゐる、滿洲國に對する內地の一般輿論は數年前と異り政治、經濟、敎育、交通の各部門に亘つて健全な發展を熟望してゐる有樣で自分も一旦滿洲國入りをした以上は身を捨てゝ日滿兩國のため御奉公する覺悟である、幸ひ大津君（內務局長官）とは大阪、東京、長崎で机を並べて働いたことがあり學校の同期生には神吉、皆川、岸、筒井君などもゐるから心强く考へてゐる、趣味は別にこれといつたものはないが乘馬、ゴルフ、野球、テニス何でも一寸だけはやるよ、家族は一ケ月許り遲れて來る、何分宜敷賴むよ

と列車が南新京附近に差しかゝる頃、國務院、司法部の諸廳舍、ゴルフ場などを眺めて「全く豫想以上だ」と驚き乍ら多難を豫想される治安部の重責にもビクとせぬ顏もしさをみせてゐた【寫眞は驛着の薄田次長】

國婦朝鮮人分會 けふ結成式

豫て準備中の滿洲國防婦女會首都朝鮮人分會結成式は十五日午後一時から老松町新京普通學校講堂で左の次第により擧行する

▲全體入場▲開會之辭▲日滿國旗最敬禮▲日滿國歌合唱▲詔書奉讀▲婦女會趣旨闡明▲分會結成經過報告▲役員任命▲分會長、副分會長委囑▲分會長挨拶▲本部長訓詞▲支部長訓詞▲分會旗授與▲分會辭▲祝電披露▲分會宣言▲來賓祝辭▲萬歲三唱▲閉會之辭▲記念撮影

軟式野球 準々決勝戰績

十四日擧行された本社後援第三回全新京實業軟式野球準々決勝の成績は次の通りである

▲双發洋行14―昌和洋行1（準決勝）

	1	2	3	4	5	6	7	計
双（先）	0	0	0	1	5	1	7	14
昌	0	0	1	0	0	0	0	1

開戰五時閉戰七時主審確井氏、公學校校庭

▲大德公司12―熊平洋行1（コールドゲーム）

	1	2	3	4	5	計
大（先）	1	3	2	2	4	12
熊	0	0	0	0	1	1

開戰五時半閉戰六時半三笠小學校校庭

▲十五日の組合せ

準々決勝

國際運輸―伊關商店 開戰四時半室町小學校々庭

滿洲國軍の送別試合

都市對抗野球滿洲代表滿洲國チームを送別する新京選拔軍對滿洲國の試合は、十四日午後四時五十分から西公園球場において孫（球）、伊藤、大三氏審判のもとに選拔軍先攻で開始、六對六で引分けとなつた、閉戰六時五十分

▲スコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
選拔軍	0	0	1	0	0	1	0	0	4	6
滿洲國	1	1	0	3	0	0	0	1	0	6

▲バッテリー

滿洲國 一二木―田中、古井、永尾

選拔軍 鈴木健（電々）、鈴木勝（電々）―迫畑（電々）、吉井（電業）

李交通部大臣

圖佳線全通式に參列した李交通部大臣は十四日午後九時三十五分歸京した

フレンソーダ

新京市立醫院は昨今五、六百人の外來患者と二百余名の入院患者をもつて全員汗だく〳〵の忙しさだがこゝの橋本博士▲新京醫學校長と內科醫長を兼ねてキリ〳〵舞ひの山口院長を扶け片腕として活躍してゐるが口髯の生えぬには相當氣を病んでゐるらしい▲皮膚科の村山醫長が學位を得る前から格好な口髯があるに較べて何うも氣に入つたヒゲが揃はぬので萬全の手當を施して▲毎日看護婦を捉へて「何うかネ、よくなつたろう大分生えたろう？」と訊ねてゐる▲口の惡い看護婦曰く「橋本先生は稀にみる良い腕をもつた先生だがヒゲだけは籔に生えた筍みたいネ」と

戀愛 髑髏組

(映畫化 上演)

林杢兵衛　金子士郎 畫

(百五十一) 幾代の過去 (十一)

「そのやうな物は要りません」と、膝下に退ける幾代。——(此の人達も矢ッ張り金で、何も彼も解決が出來ると思つてゐる。幸ひ何んでもない關係だつたからいゝやうなもの、若し自分と金之助との仲が、感違ひされてゐるやうに實際だつたら、もつと口惜い思ひをしなければならなかつた)

そう思ふと、幾代はその金を、叩きつけてやりたいやうな氣がした。

「いゝえ、どうぞこれはお納め下さいまし、それでないと、私の心が濟みません」

「要りません、濟むも濟まぬもない、妾と金之助樣とは、別にどうと云ふ關係もありません、どうぞそれはお持ち歸りを願ひます」

「ではあの……」

幾代から、何んの關係もないと聞かされて、母親は、あわてゝ前に置いた金を引ッこめた。

そうして挨拶もそこ／＼にして、そそくさと立つて行くその醜い動作を、實際に見せつけられて、また新しく憎惡を感ぜずには居られない幾代だつた。

金之助の母親を追ひ返すと、幾代は、まだ醒めやらぬ不愉快な氣持で、土間へ降りた。

と——其處には蜷川剛造が待ち兼ねてゐた。

「おゝ、幾代、何をそんなに怒つた顏をしてゐるのだ。はゝんさては……」

「さては、どうと云ふのです」

「大分風向きが惡いぞ、はゝ、はッ、は、なんでもないわい。さア、此處へ來て、一杯飲め、飲んで景氣よく笑ふんだ」

「えゝ、頂きますわ」

「なに頂く……? ほゝう、これは珍らしい、どうしたんだ、さては何か、面白くないことでもあつたんだな?」

剛造は、今度も幾代がいつもの調子で斷るだらう——と、豫期してゐたのに、意外にも、二つ返事で、飲む——と、云ひ出したのですつかり面喰らつた。

「注いで下さらないの?」

飲め——と云ひながら、急に氣味が惡くなつたのか、注いでやらうともしない剛造の鼻先へ、盃を突き出して、催促に請求をする幾代のさうした動作を、益々不思議に思つた剛造が

「どうも少し變だぞ幾代、いつもの調子とは違ふぢやないか?」

「なんでもないんですよ、一寸お酒が飲んで見たくなつたばかりなんです」

「だから、それが變だ——と云ふのだ、いつだつて飲まないのに、けふは進んで飲む……はて、不思議な……と……も……」

せりふを眞似て、剛造が首を振れば

「では、もう止めますわ」

「冗談ぢやない、本當にどうしたのだ? その理由を聞かしてくれ、儂が無理に勸めるから飲むのだ、——と云ふのなら判つてゐるが、今の態度は、どうもさうではないやうだ」

「本當になんでもありません、ほんの妾の氣まぐれだつたのですから、そんなに御心配下さらなくともいゝことよ」

「さうか、ぢやア矢張りいつもの通り斷はつて貰はう、なんだか氣味が惡い」

「仰有る貴郎の方が、よつぽど變ですわ」

「さうかも知れぬ、つまりこれが惚れた弱味と云ふやつぢや、はッ、はッ、はッ」

腹を抱へて愉快に笑ふ剛造。これも氣まぐれか、いつにない幾代の待遇に、頗る上機嫌だ。